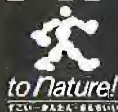
HITACHI



深剃りの早剃り。

20枚刃の爽快深剃り。
日立「ロータリーツイン」。



世界初※
ロータリーシェーバー
RM-WX300

本体標準価格 **33,000円** 税別

●1時間充電・交流式両用 ●AC100－240V
●デラックスソフトケース、スタンドつき

同時発売

RM-WX200 本体標準価格 **29,000円** 税別
●1時間充電・交流式両用 ●AC100－240V

RM-WX100 本体標準価格 **23,000円** 税別
●1時間充電・交流式両用 ●AC100－120V

●商品の価格には、配送・使用済み商品の引き取り等の費用、および、消費税は含まれておりません。●ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ご購入の際は、必ず「保証書」の記入事項をご確認のうえ、大切に保存してください。●特許50件、実用新案31件（平成8年6月現在、出願中を含む。） ※平成7年8月（当社調べ）

(株)日立製作所・九州日立マクセル(株)

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

協会だより

7月度常務理事会

日　時　7月13日(土)
　　　　10時30分から17時
場　所　日体協　401号会議室
出席者　中澤専務理事、
　　　　常務理事6名、
　　　　監事・参事各1名、
　　　　事務局2名

1、97男子（熊本）世界選手権関連事項について

(1)COC委員長ミューレマター氏の試合会場施設の視察報告

公式時計について

タイムアウト制の採用について、アトランタオリンピック視察後に検討

組み合わせ抽選会の日程案について

(2)熊本県内での募金活動の報告。

日本協会フレンドシップ'97とは別企画であることを確認。

(3)その他関連

日本リーグを通して全国PRを展開することが可能であり、経費措置の要望があった。

2、選手強化関連事項

強化委員会、スポーツ医科学講習会の開催報告。

JOC専任コーチについて報告

スウェーデンとの国際試合について、5月上旬に最終仕上げとして実施の希望があり、期日、開催地の検討中であることの報告。

女子強化専門委員会報告。今後の強化の方向について

'97ジャパンカップについて2月中旬に熊本開催を計画している。

3、ジャパンオープントーナメント出場資格について

同大会の予選で他チームより出場していなければ本年に限り移籍を認めることとした。

4、平成8・9年度の全日本総合選手権大会について

(1)東京都協会主管引き受けに関する要望について

(2)平成9年度については、女子は神戸開催。

5、平成8年度第1回日本リーグオーナー会議開催について

開催時期を10月上旬をめどとし、会長の日程調整をする。

6、指導委員会提案並びに報告について

(1)インターネットに関して協会内で委員会を設置する方向で検討、準備委員会を作ることを了承。

(2)学校体育ハンドボール検討委員会、小学校ハンドボール普及対策、マスターハンドボールの普及、中学生強化の方向と説明があり、実践していくことを承認。

7、日本リーグ事業報告

第21回日本リーグに登録した外国籍選手、スタッフについて報告

日本リーグ選手証の発行について、日本協会発行のものと重複する事から、日本協会と運用して運営するよう要望。

第21回日本リーグ日程について説明

8、夏期全国大会への役員派遣について

派遣期間、行き先、宿泊地等の確認と、ジャパンオープントーナメント、全国中学校大会に追加派遣を了承。

9、その他

全国理事長懇談会の開催について、国体開催期間中に広島市内で開催することで了承。日時、場所は後報。

外国人コーチ、スタッフの日本での求職について、機関誌で引き続き紹介し対応する。

ハンドボールの活性化に関する小委員会開催報告

世界選手権大会を盛り上げるため、各担当で実施する委員会、講習会等を熊本で開催するよう要望あり。

渡邊佳英副会長
IHF/COCメンバーに選ばれる



ＩＨＦ総会が７月15日～17日、アメリカ・サウスキャロライナ州のヒルトンヘッドアイランドで開催された。その総会において日本ハンドボール協会・渡邊副会長がＩＨＦ／ＣＯＣ(競技普及委員会)のメンバーに選ばれた。

なお、ＣＯＣ委員長はペーター・ミューレマター氏（スイス）で、先程、熊本に来て各施設などを視察。そうした重要なポジションだけに、今後大きな期待が寄せられる。

ＩＨＦ／ＣＯＣのメンバーは以下の通り。

Peter Muehlematter（スイス）	Rachid Meskouri（アルジェリア）
Alexander Kozhukhov（ロシア）	渡邊　佳英（日本）
Erik Larsen（デンマーク）	Michael Wiederer（オーストリア）
Miquel RoceMas（スペイン）	Peter Buehing（アメリカ）

1997年男子世界ハンドボール選手権大会・熊本ニュース

●IHF総会で1997熊本をアピール（７月15～17日）

アトランタオリンピックの開催に合わせ、アトランタ郊外のヒルトン・ヘッド・アイランドで開かれたＩＨＦ総会において、㈶日本ハンドボール協会　渡邊副会長らが出席。来年、熊本で開催の男子世界選手権大会について、開催の準備状況などについて説明。ヨーロッパを初めて離れた大会を大いにアピールした。
また、次期開催地に前回熊本と争ったエジプトが、決戦投票の結果フランスを破り開催地に決定した。

●パークドーム熊本 リフトアップ開始（７月22日）



1997年男子世界ハンドボール選手権大会・熊本のメイン会場となるパークドーム熊本。来年３月の完成に向け工事が着々と進んでいる。７月22日現在大会まで300日を切ったところで、地上で組み立てた屋根を持ち上げるリフトアップ式が行われた。

「浮雲」と呼ばれる屋根は直径128m、鋼管などで補強された２重の空気幕を膨らませた円盤上で、重さ約2400トン、32台の油圧ジャッキでそのまま垂直に19m持ち上げ支柱に取りつけられる。

屋根は１分間に７cm上がり、１日に２・３mずつ上がる計画。途中支柱の工事などが入るため、持ち上がるまで３週間かかる予定。この日ジャッキの始動式があり、魚住汎輝熊本県副知事や工事関係者らが始動ボタンを押した。

IHF総会出席報告
（国際ハンドボール連盟）

日本ハンドボール協会国際担当常務理事　井　薫



7月15日から17日の3日間、IHFの定期総会がアメリカ・サウスキャロライナ州の、ヒルトンヘッド島で行われ、渡邊佳英副会長と共に出席しました。

今回は4年ごとに行われる役員改選と、1999年の各世界選手権大会の会場地決定のため総会で、同時に行われたAHFの総会の模様と併せてご報告致します。

IHFの役員改選は、変更のあった部分のみを紹介したいと思います。

PRC（レフェリー委員会）の委員長は、エリック・エリアス氏の勇退に伴う改選で、ノルウェー（日本でも良く知られたボルスタット氏）、ほかにアイスランド、イタリアからノミネート。

最初の投票では、3人が有効投票数102の過半数を得ず決選投票となるが、ボルスタット氏は僅かに13票と低迷で脱落、決選投票の結果、アイスランドのK・スタインバックが選出された。

この日の朝、AHFのメンバーに緊急の招集があり、シェイク・アーマド会長から、アジア・アフリカはイタリアの候補にとりまとめたい旨の発言があったが、渡邊氏からはそれには従わない意向を伺っており（PRCがAHFの意のままになる事は大変な事態）、結果は満足のいくものでした。

早速、スタインバック委員長には、12月の全日本総合選手権時の、IHFレフェリーの研修をかねた大会への参加の件を話合い、女子のヨーロッパカップと同時期だが、調整を約してもらえた。

CPP（広報委員会）は同委員会のメンバーの、スウェーデンのC・N・グリーン女史が現職のハンス・ゲオルグ・ヘヤマン委員長に代わり選出された。

現体制に変化なしと聞いていたが、彼女の人柄、ナショナルプレイヤーとしてのキャリアに加え、女子の代表としての表現等を用いた、投票前の応援のスピーチが効果的でIHFの初めての女性メンバーの登場となった。

総会における東アジア関連では、韓国の金宗河氏が退任、渡邊佳英副会長がCOC委員に新任され、PRCには韓国朴委員が留任した。

1999年の男子世界選手権大会には、エジプト、フランス、ドイツ、スイスの共催、チュニジアが立候補。

各国がビデオを使ってのプレゼンテーションを行なったが、投票直前にチュニジアが辞退して、投票は三者にしぼられ、ドイツ・スイスがまず脱落、決選投票となり、エジプトが14票差で、第16回大会の会場地として承認された。

ちなみに、ドイツ・スイスの投票数が加算されれば、フランス開催が実現したわけですが、各国の事情、国際舞台の様々な思惑、駆け引きが、大変興味深く感じられました。

1999年男子世界選手権大会
エジプト
1999年女子世界選手権大会
（締切後にルーマニアが意向を示し、検討）
1999年男子ジュニア世界選手権大会　　カタール
1999年女子ジュニア世界選手権大会（現時点申し込みなし）

その他に、イタリアが紹介したビーチハンドボールには、IHFとしても普及の面で強い関心を示し、時間をかなりかけて紹介をして、質疑も多く、今後に注目したい。

最後に日本の準備状況を渡邊佳英副会長が説明、会場の進捗状況及び、アクセス等はビデオで説明、大きな拍手を得た。

次回総会は、97年9月アフリカ・アイボリーコーストに決定しました。

AHF総会は13日から14日に行われ、役員改選では渡邊佳英副会長が理事留任、金宗河氏はAHFからも退き、韓国の今日の隆盛をリードした立て役者が一線から姿を消したが、日本通でもあり国際感覚の優れた同氏の功績を称えたい。

’97年男子世界選手権大会予選
東地区9月26日　　中国
西地区10月2日〜9日　カタール
（東西2位の第2次予選は未定）
’97年女子世界選手権大会予選
’98年1月〜4月　　韓国
アジア・クラブ選手権大会は98年
イラン

その他は次回の議題として閉会した。

全国理事長懇談会

日　時　平成8年6月29日
　　　　16時40分～18時30分
場　所　岸記念体育会館
　　　　401・402会議室

出席者（敬称略）(代)は代理出席
青森・諏訪正徳／山形・奥山重雄／福島・加藤岳郎／茨城・立原定宗／栃木・川田雄三(代)／群馬・宇佐美幸彦／千葉・稲生茂／東京・塩川安賢(代)／神奈川・森川利昭／福井・越田義昭／愛知・川島克之(代)／三重・鈴木義男／滋賀・清水哲哉／京都・吉田博二／大阪・東嘉伸／兵庫・大原康昇／広島・西元義昭／徳島・長尾輝夫／愛媛・野中　聰／高知・武田末男／佐賀・甲斐忠義／熊本・森豊夫／沖縄・新垣健／実連・近森克彦(代)／教職員・山下勝司(代)／学連・福地賢介／高体連・大川庄司(代)
[日本協会] 中澤専務理事、以下常務理事8名、参事1名、事務局2名

開会に先立ち中澤専務理事より以下のような挨拶があった。

評議員、理事長を兼ねている人が多いことで、続いての会議出席で負担を強いることへの謝辞が述べられた。

先般、事務取り扱い責任者会議を開催し、都道府県協会理事長とのコミュニケーションを図るべきとの考えから、埼玉国体以来開催していない理事長会を開催した。

情報伝達のシステムが組織上の位置付けにないため、予算措置がなく負担を強いることになった。

日本協会60周年記念と第15回男子世界選手権の開催を契機に、一般へのハンドボールの認識を高めていきたい。

懇談内容

1、平成8年1月よりの事業経過報告

平成8年1月よりの常務理事会、全国理事会、評議員会の議事録が配布され、事業経過について報告がなされた。

2、'97男子世界選手権大会関連事項

現在までの経過報告と平成8年度事業計画について述べられた。

全国的世界選手権大会の認知が遅れているが、秋口には全国に向けて発信される予定である。国体との関連で地元ではPRがなされている。これからPRが進むと思われる。

九州エリアは認知が高まっているが全国展開にはほど遠い。財源もないが、アトランタ後、全国告知をやっていきたい。協会事業として、補助金を利用し首都圏での電車の中つり、東京、名古屋、大阪の地下鉄での告知を行う予定である。経験豊富な理事長の皆様にご支援をお願いしたい。

世界選手権のムード作りとしてグッズの活用が依頼された。続いて観客動員に関連して、観戦ツアー、大集合作戦、各都道府県での総決起集会、フェスティバル大会について説明がなされた。

選手強化・広報の援助を日本リーグオーナー会議にお願いし、その他日本財団、自転車振興会に申請しているが行える事業が決まっており制限がある。また、等分に見合うだけの日本協会負担が必要である。

フレンドシップ97について、日本リーグ以外の企業には別途依頼するが、ハンドボール関係の個人にお願いしたいことが述べられた。3万人に告知の予定である。一人でも多く募金していただくため協力依頼がなされた。

広島県西元理事長より、アジア選手権時の例が述べられ、目標を持つほうがやりやすいことがのべられた。

都道府県の協力についていくつかの意見が述べられた。

特に修学旅行の組み込みについては積極的に働きかけていくこととした。

世界選手権にインターハイ予選があるとの発言に対し、空白期間を設けるため申し込み時期をずらすなどの要望をしている。その他各大会のスケジュールの調整を考えている。

所属団体が出しやすく、合法的に休める方法として、期間中に各種研修会、講習会、研究会を開催するとの意見があった。

その他の意見
・国体ブロック代表について
・国体は都道府県対抗である。ブロックに所属する県の比率によって分けるべき
・国体は総人数が決められているが、人数を減らしてチーム数を増やす
　人口比率は好ましくない、検討を
・オリンピック基金のような1年限りの協賛金は、協力するときは協力する用意がある。

全日本の強化の状況について説明がなされた。

中澤専務理事より挨拶があり閉会となった。



全日本男子ヨーロッパ遠征へ！

全日本男子チームは8月24日から9月10日までの18日間、ヨーロッパ遠征を行う。

この遠征では、第10回シュバーカッセカップ（ドイツ・8月24日～31日）、第21回G・マラン杯、第2回クラブチーム・インターコンチネンタルカップ（フランス・9月1日～9日）などに出場する予定である。

この遠征に参加するメンバーは下表の通り。

全日本男子ヨーロッパ遠征メンバー

役　職	氏　名	所　属
監　督	オレ・オルソン	日本ハンドボール協会
コーチ	田口　隆	日本ハンドボール協会
コーチ	酒巻清治	湧水製薬
指導普及	栗山雅倫	筑波大学院
ドクター	生田拓也	熊本整形外科病院
ドクター	坂口　満	熊本整形外科病院
トレーナー	西村栄治	熊本整形外科病院

選手	氏　名	所属先名	生年月日	身長	体重	出身学校	出身大学	出身地
1	橋本　行弘	本田技研	1965. 9.17	186	86	岡崎城西高	——	愛知県
2	吉田　聡	トヨタ車体	1970. 5.24	178	68	高岡向陵高	日体大	富山県
3	魚住　和彦	大崎電気	1966.10.24	187	81	東海大二高	東海大	熊本県
4	佐々木教裕	日体大	1974. 4. 8	190	80	拓大附第一高	——	神奈川
5	冨本　栄次	大同特殊鋼	1971.10.18	181	84	日体荏原高	日体大	神奈川
6	泉　光介	中村荷役	1970. 7.23	177	83	兵庫育英高	大体大	兵庫県
7	中山　剛	湧永製薬	1969. 7. 4	190	88	久留米工大付高	福岡大	福岡県
8	岩本　真典	三陽商会	1970. 9.28	199	89	熊本市立商工	早稲田大	熊本県
9	森本　彰宏	大崎電気	1970.12.23	180	77	北陽高	大阪体大	大阪府
10	末岡　政広	大同特殊鋼	1967. 9. 1	177	81	瓊浦高	福岡大	長崎県
13	藤井　孝志	大同特殊鋼	1969. 7.27	188	91	高岡向陵高	筑波大	富山県
14	杉山　裕一	湧永製薬	1972. 9.21	189	95	岐阜商業高	——	岐阜県
15	田中　茂	三陽商会	1967. 9. 2	182	81	瓊浦高	筑波大	長崎県
16	四方　篤	本田技研	1972. 5.12	190	98	北陽高校	大阪体大	大阪府
17	茅場　清	本田技研	1973. 7. 8	184	78	笠間高校	日体大	茨城県
18	山口　修	湧永製薬	1972. 2.28	189	92	西宮南高	大阪体大	兵庫県

全日本学生男子選抜チーム　ロシア遠征へ

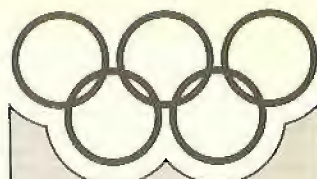
本年12月26日より1997年1月6日まで開催される第15回男子世界学生ハンドボール選手権大会への参加を決定している日本チームは、全日本男子学生チームの候補選手の最終選考と強化を目的として8月25日より9月4日までロシア遠征を行う。

ロシアは第13回男子世界学生ハンドボール選手権大会の優勝国であり、そのロシア学生選抜チームとの合同練習、試合は大きな成果をもたらせてくれるものと期待される。

メンバーは左記の通り。

全日本学生選抜チームロシア遠征メンバー

役職	氏　名	備　考	
総監督	福地賢介	全日本学生ハンドボール連盟理事長	
監　督	松喜美夫	函館大学監督	
コーチ	宇榮原幸政	中部大学監督	
コーチ	田村修治	東海大学監督	
総　務	三須信子	株式会社エンタープライズ	
GK	安藤功規	中部大学	4年
GK	元村東弘	中央大学	4年
GK	濱口　靖	大阪体育大学	4年
CP	池辺健二	大阪体育大学	4年
CP	森山　透	日本体育大学	4年
CP	須藤武志	早稲田大学	4年
CP	荒尾祐治	日本体育大学	4年
CP	工藤誠司	筑波大学	4年
CP	羽賀太一	中京大学	4年
CP	斉藤泰貴	中京大学	4年
CP	清水祥二	大阪体育大学	4年
CP	荒木誠司	大阪体育大学	4年
CP	田中慎一	福岡大学	4年
CP	中川善雄	中央大学	4年
CP	岩本　裕	国士館大学	3年
CP	田中　将	日本体育大学	3年
CP	片岡達也	函館大学	3年
CP	田場裕也	日本体育大学	3年
CP	谷　嘉徳	国士館大学	3年



アトランタオリンピックのハンドボール競技

全日本男子チーム監督　オレ・オルソン



予選最終ラウンド、順位決定戦を観戦し、以下の報告をいたします。

まず、参加国12チームを3つのレベルに分類できると思います。最高レベルとして、クロアチア、スウェーデン、スペイン、フランス、ロシア、次のレベルにエジプト、ドイツ、スイス、最後にこれらの8チームから大分離れてアメリカ、アルジェリア、クウェート、ブラジルがそれぞれ挙げられます。ヨーロッパ以外で現在世界のトップレベルに属するのは、韓国とエジプトだけだと思われます（むろん、日本チームをそのうちの一つにするべく、全力を注ぎます）。

クロアチアの今回の優勝は、多くの人々、そして彼ら自身をも大いに驚かせたようですが、私個人的には極めて自然に受け止められました。まず、クロアチアは1994年のヨーロッパ選手権で、金のスウェーデン、銀のロシアに僅差で敗れての銅メダル、ついで1995年の世界選手権では、フランスに敗れたものの銀メダル。またこの時、スウェーデン、ロシアには楽な展開で勝利を収めています。そして今年のヨーロッパ選手権では、チーム内でごたごたがあり、うまく行かなかったものの、その後ヘッドコーチが替わり、アトランタで金メダル。アトランタでは、ロシア戦にラスト1分で勝利を決めるなど、運にも恵まれましたが、準決勝以降は危なげなく勝ち、結局は、決勝ラウンド進出をすでに決めた後の予選でのスウェーデン戦で、4人のレギュラーメンバーをはずし黒星を喫したのみの堂々たる金メダルに輝きました。

対するスウェーデンは、バルセロナと同様、銀に甘んじました。このチームで唯一手に入れていないオリンピックでの金メダルを目標に長期間活動してきましたが、結果は勝ちを過剰に意識し、極度の緊張からこれまで見せたことのないような精彩のない戦いぶりでした。

さて、その他ですが、まずスペインが世界のトッププレーヤーであるドゥイシェバイエフにリードされるオフェンスと、パワフルでアグレッシブなディフェンスが好回転して銅メダル。フランスは能力が高いながらも世界選手権優勝以降、チーム内がうまくいっていないようで、結果4位。ロシアは先述したように、僅差でクロアチアに敗戦したほか、スウェーデンにも僅かに及ばず優勝戦線から離脱しました。

また、アトランタオリンピックでは、先のヨーロッパ選手権同様、技術戦術的に特別な発展 傾向は見られず、プレーヤー、プレースタイル共に、皆さんご存知の通りでした。技術、戦術、体力面から、スポーツはよく討論されますが、結果が示すように、メンタル面は大きく結果を左右します。すなわち、予期リーダーシップ、スピリット、メンタルタフネス抜きに成功は収められないのです。

最後にアトランタオリンピックの運営についてですが、非常に良い内容だったと思います。ハンドボールに関しては、あまり馴染みのないアメリカ人の観客も、ゲームを楽しめるような工夫が随所に見られ、大変素晴らしいものでした。このレベルでのスポーツはエンターテイメントとしての側面を持ち得るべきで、プレーヤーもそのことをしっかり自覚しているべきです。その意味で、女子は競技レベルは比較的低いものの、特に決勝のデンマーク―韓国戦は、まさにエンターテイナーとして大役を果たしたと思います。

男子予選リーグＡ組　上段：前半スコアー、下段：トータルスコアー

	スウェーデン	クロアチア	ロシア	スイス	アメリカ	クウェート	勝負	順位
スウェーデン		10－7 ○27－18	11－11 ○22－20	14－8 ○26－19	11－9 ○23－19	16－7 ○33－18	5・0	①
クロアチア	●18－27		11－13 ○25－24	12－14 ○23－22	20－9 ○35－27	16－11 ○31－22	4・1	②
ロシア	13－11 ●24－25	11－11 ●20－22		14－11 ○30－23	18－10 ○32－20	16－9 ○31－16	3・2	③
スイス	14－12 ●22－23	8－14 ●19－26	11－14 ●23－33		18－8 ○33－16	12－9 ○29－20	2・3	④
アメリカ	9－11 ●19－23	9－20 ●27－35	9－16 ●36－31	9－12 ●20－29		13－10 ○29－24	1・4	⑤
クウェート	7－16 ●18－33	11－16 ●22－31	10－18 ●20－32	8－18 ●16－33	13－10 ●29－24		0・5	⑥

男子予選リーグＢ組

	フランス	スペイン	エジプト	ドイツ	アルジェリア	ブラジル	勝負	順位
フランス		10－12 ●23－24	12－9 ○25－20	10－9 ○27－25	11－10 ○33－22	16－10 ○37－23	4・1	①
スペイン	9－10 ●25－27		11－8 ○20－19	11－10 ○22－20	12－5 ○20－14	12－10 ○27－17	4・1	②
エジプト	9－12 ●20－25	8－11 ●29－20		11－9 ○24－22	7－9 ○19－16	15－10 ○31－20	3・2	③
ドイツ	12－10 ○24－23	10－11 ●20－22	9－11 ●22－24		13－12 ○25－23	12－7 ○30－20	3・2	④
アルジェリア	10－11 ●22－33	12－13 ●23－25	9－7 ●16－19	5－12 ●14－20		9－11 △20－20	分 1・4	⑤
ブラジル	10－16 ●23－37	7－12 ●20－30	10－15 ●20－31	10－12 ●17－27	11－9 △20－20		分 1・4	⑥

■男子

最終順位

①クロアチア	⑨アメリカ
②スウェーデン	⑩アルジェリア
③スペイン	⑪ブラジル
④フランス	⑫クェート
⑤ロシア	
⑥エジプト	
⑦ドイツ	
⑧スイス	

■準決勝

スウェーデン 25（14－8、11－12）20 スペイン

クロアチア 24（12－12、12－8）20 フランス

■5－6位

ロシア 29（14－15、15－11）26 エジプト

■7－8位

ドイツ 23（11－6、12－10）16 スイス

全日本女子チーム監督　樫塚　正一



100周年を記念するアトランタ大会は、スポーツ、イベント好きのアメリカの応援する人達が会場で熱狂的な声援を送っていた。競技や選手に接する素晴らしいマナーに感心すると同時に自分たちのプレーの楽しみ方も一流であった。2試合ごとの入れ替え制度にもかかわらず8000人収容されるハンドボール会場も連日満席近い状態で試合が行われていた。暑いアトランタと報道されていたが、競技場に入る前に冷房が完備されていて肌寒い会場。オリンピックは、男女別に開催される世界選手権とは大会の持つ意味が違っている。観戦する我々にも世界一流の男子と女子を同時に観ることが出来る最高のイベントといえる。今大会で世界の流れが新しく変わって行くのを感じ取った。ヨーロッパ中心であったハンドボール競技がソウル大会で韓国が流れを変えるきっかけをつくり、東欧共産国の崩壊も関連して低迷していた北欧の男子スウェーデン、女子デンマーク、ノルウェーの活躍を見逃せない。

もう1つの注目すべき点は、アフリカ諸国の現状である。今大会の男子エジプトはドイツに22対20で競り勝ち、接戦を征した。エジプトは戦術的にもドイツに技術的にも勝っており、Jrの世界選手権優勝は偶然ではなかった。女子のアンゴラは韓国に対して19対25と戦い韓国の速攻を許さず遅攻戦に持ち込み、足を使った防御で後半は互角に戦った。

アフリカ諸国は競技レベルを上げて実力をつけ、ヨーロッパ諸国の仲間入りを果たしている。女子はオリンピック三連覇を手に入れる実力をつけた韓国と、新しいチームによって力をつけた中国は速攻展開の速さに力を増し、遅攻では粘り強い継ぎの展開を身につけてドイツを接戦で破る活躍があった。アフリカが力をつけ、アジアの女子がレベルを上げて来たことが世界の流れが変わる大会となったことに今回の話題がある。

戦術的には男子はフランス、スウェーデン、クロアチアを、女子は韓国、デンマーク、ハンガリー、ノルウェーを中心に試合の展開を見ることが出来た。男子女子ともにアイスランド、オーストリア大会以後の新しい戦術を見ることは無かった。

攻撃に男女を共通した見方をした時、速攻展開は総てのチームに早い展開と正確なパスが印象深い。遅攻では卓越したパスを送るセンタープレイヤーと強力なシュートが打てるアタッカーを持っていることが必須条件であった。

防御で男子は1：5防御を原型とした型からマークを変える変型防御を全体とした。女子は韓国デンマークの0：6防御から5：1～1：5の型を組み合わせた変型を主体としていた。男子も女子も防御は足を使ったフットワークの早さと強さの継続であり、腕を使わずに動くボディーバランスが安定していた。攻撃もさることながら、防御の安定は試合の流れに有利な影響を及ぼす大切さを痛感した。一方、ドイツ男女の低迷振りを見逃せない大会でもあった。ハンドボール王国の面影も見られない戦績をどう見るべきであろうか。2年ごとの世界選手権と4年に1回のオリンピックを考えてチーム強化を計るには、世界のカレンダーの変更を見逃したチーム強化を計れない新しい時代をドイツの低迷に見ているのではないか。機会を得て多くのものを学んだ。学んだことを日本チームの課題の中に取り入れ、力と肉に変える役割が残されている。

女子予選リーグA組　上段：前半スコアー、下段：トータルスコアー

	デンマーク	ハンガリー	中　国	アメリカ	勝負	順位
デンマーク		14－12 ○27－22	19－9 ○33－21	13－9 ○29－19	3・0	①
ハンガリー	12－14 ●22－27		14－11 ○29－19	19－8 ○30－24	2・1	②
中　国	9－13 ●19－29	9－19 ●21－33		16－11 ○31－21	1・2	③
アメリカ	8－19 ●24－30	9－13 ●19－29	11－16 ●21－31		3・0	④

女子予選リーグB組

	韓　国	ノルウェー	ドイツ	アンゴラ	勝負	順位
韓　国		12－10 ○25－21	17－12 ○33－20	15－8 ○25－19	3・0	①
ノルウェー	10－12 ●21－25		15－11 ○28－23	15－7 ○30－18	2・1	②
ドイツ	12－17 ●20－33	11－15 ●23－28		10－6 ○27－12	1・2	③
アンゴラ	8－15 ●19－25	7－15 ●18－30	6－10 ●12－27		0・3	④

■9－10位
アメリカ 27（10－12、12－10、2－2、3－2）26 アルジェリア

■11－12位
ブラジル 31（16－13、15－12）25 クウェート

■3位決定戦
スペイン 27（13－12、14－13）25 フランス

■決勝
クロアチア 27（16－11、11－15）26 スウェーデン

■女子

最終順位
①デンマーク
②韓国
③ハンガリー
④ノルウェー
⑤中国
⑥ドイツ
⑦アンゴラ
⑧アメリカ

■準決勝
デンマーク 23（12－6、11－13）19 ノルウェー
韓国 39（19－10、20－15）25 ハンガリー

■5－6位
中国 28（16－12、12－14）26 ドイツ

■7－8位
アンゴラ 24（11－11、13－12）23 アメリカ

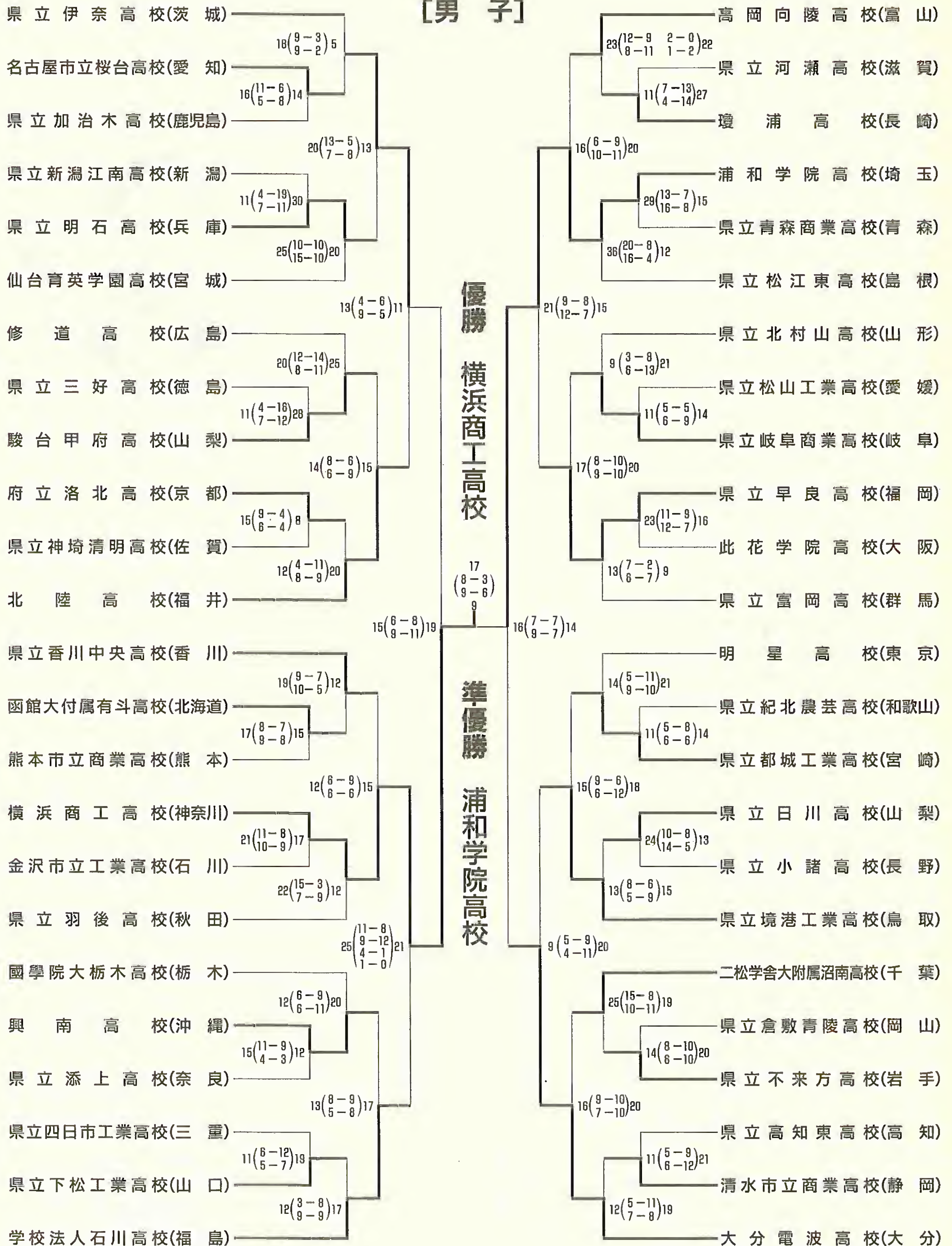
■3位決定戦
ハンガリー 20（7－9、13－9）18 ノルウェー

■決勝
デンマーク 37（13－17、16－12、5－2、3－2）33 韓国

学校総合体育大会

等学校ハンドボール選手権大会

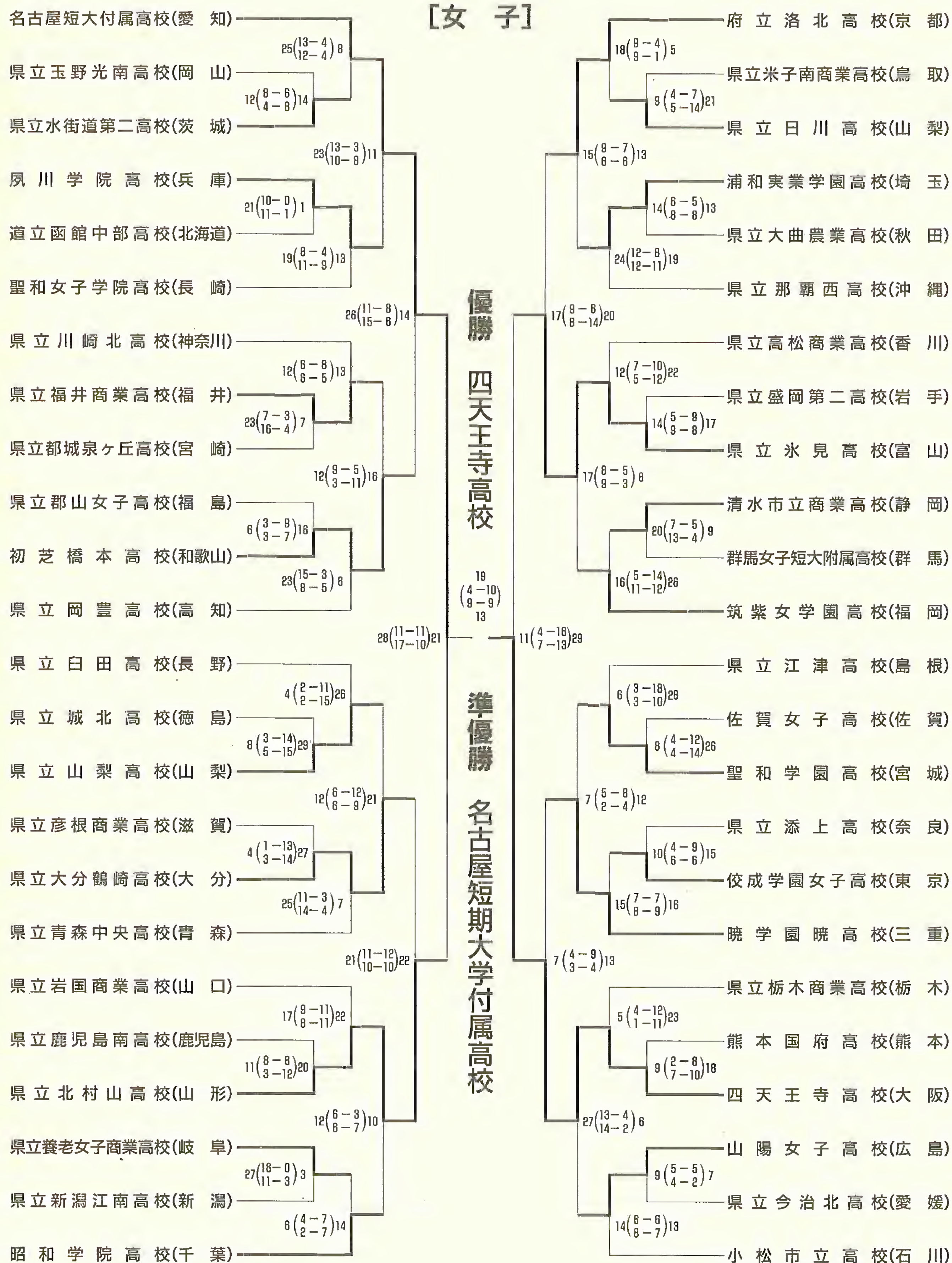
塩山市民体育館　8月6日～8月7日



平成8年度全国高等

高松宮賜杯　第47回全日本高

塩山高等学校グラウンド　8月2日～8月5日



第１回ジャパンオープンハンドボールトーナメント大会速報

（男子の部）8月11日(日)～8月14日(水)

大阪府堺市

優勝　香川選抜
準優勝　ケー・エフ・シー
３位　ホンダクラブ

1回戦			
みかん倶楽部	25（10－22, 15－12）34	ホンダクラブ	
京友クラブ	46（20－13, 26－14）27	鯉城クラブ	
コザクラブ	29（15－15, 14－11）26	湯沢クラブ	
小松クラブ	27（10－10, 17－10）20	セントラル自動車	
富岡ハンドボールクラブ	19（6－20, 13－17）37	わかくさクラブ	
市立岐阜商業クラブ	14（8－11, 6－10）21	熊本教員	
聖光クラブ	34（15－10, 19－8）18	高島クラブ	
麻生フェニックス	14（6－20, 8－16）36	ケー・エフ・シー	
塩山ハンドボールクラブ	24（11－21, 13－22）43	金沢市役所	
日新製鋼呉鉄球会	38（18－13, 20－15）28	宮城教員	
エルムクラブ	37（18－6, 19－15）21	宮崎クラブ	
那賀クラブ	24（10－12, 14－15）27	埼玉フェニックス	
福岡教員	32（15－9, 17－11）20	西宮東クラブ	
境港クラブ	28（10－9, 18－9）18	向陵クラブ	
ＡＣウィンズ	28（15－22, 13－20）42	香川選抜	
ラージェスト	19（7－15, 12－17）32	福島クラブ	

2回戦以降		
ホンダクラブ	37（23－6, 14－12）18	京友クラブ
コザクラブ	35（13－15, 22－12）27	小松クラブ
わかくさクラブ	26（16－19, 10－16）35	熊本教員
聖光クラブ	20（7－18, 13－15）33	ケー・エフ・シー
金沢市役所	24（9－18, 15－16）34	日新製鋼呉鉄球会
エルムクラブ	27（12－14, 15－14）28	埼玉フェニックス
福岡教員	27（11－7, 9－13, 延 3－2, 4－2）24	境港クラブ
香川選抜	30（16－11, 14－15）26	福島クラブ
ホンダクラブ	25（15－12, 10－12）24	コザクラブ
熊本教員	31（13－11, 12－14, 延 4－4, 2－5）34	ケー・エフ・シー
日新製鋼呉鉄球会	24（13－13, 11－16）29	埼玉フェニックス
福岡教員	22（8－15, 14－15）30	香川選抜
ホンダクラブ	34（18－14, 12－16, 延 1－6, 3－2）38	ケー・エフ・シー
埼玉フェニックス	20（8－20, 12－26）46	香川選抜

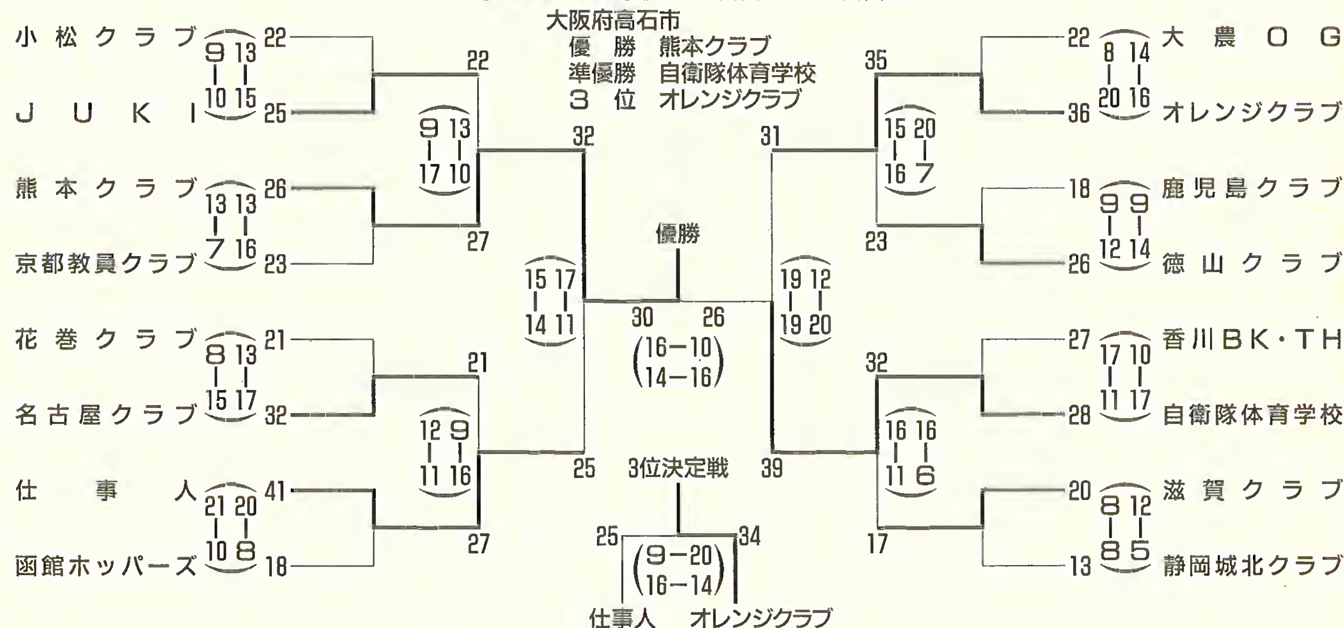
優勝　ケー・エフ・シー　24（10－17, 14－18）37　香川選抜

3位決定戦　本田クラブ　35（19－12, 16－13）25　埼玉フェニックス

（女子の部）8月11日(日)～8月13日(火)

大阪府高石市

優勝　熊本クラブ
準優勝　自衛隊体育学校
３位　オレンジクラブ



第9回全国小学生大会

男女とも大分県のチームが制する

第9回全国小学生ハンドボール大会は、7月28日から30日まで、京都府・田辺中央体育館、同志社大学ディヴィス記念館で開催され、男女とも大分県のチームが優勝を飾った。

男子の部

◆予選リーグAブロック

笹川 12－0 埴生
田辺町 12－0 埴生
田辺町 14－11 笹川
延岡小 12－0 埴生
延岡小 12－8 笹川
延岡小 12－9 田辺町
安堵の里 12－0 埴生
安堵の里 19－12 笹川
安堵の里 14－9 田辺町
延岡小 10－7 安堵の里

［順位］①延岡小ハンドボールクラブ(宮崎)②安堵の里ハンドボールクラブ(奈良)③田辺町選抜(京都)④笹川ハンドボール少年団(三重)⑤埴生小学校ハンドボール部(長野)

◆予選リーグBブロック

山鹿 24－9 山鹿　窪
鹿 15－11 香川町
甲田 22－13 山鹿
神森 18－11 山鹿
窪 22－8 香川町
窪 20－14 甲田
神森 13－9 窪
甲田 17－8 香川町
神森 14－6 香川町
神森 14－14 甲田

［順位］①神森小学校(沖縄)②窪スポーツ少年団ハンドボール部(富山)③甲田ハンドボール部(広島)④山鹿小学校ハンドボール部(熊本)⑤香川町オリーブくん(香川)

◆予選リーグCブロック

播磨 14－2 瀬戸
明野北 30－0 瀬戸
大浜 20－3 瀬戸
塩山 28－0 瀬戸
明野北 22－4 播磨
大浜 20－4 播磨
塩山 19－0 播磨
明野北 23－5 大浜
明野北 13－11 塩山
塩山 22－12 大浜

［順位］①明野北ハンドボール少年団(大分)②塩山ハンドボールスポーツ少年団(山梨)③大浜キッズ(大阪)④播磨ラッキーズ(兵庫)⑤瀬戸オールスターズジュニア(岡山)

◆予選リーグDブロック

田辺 16－5 愛知県
長崎選抜 12－7 愛知県
足羽 14－4 愛知県
田辺 18－7 長崎選抜
田辺 16－5 足羽
長崎選抜 14－6 足羽

［順位］①田辺小学校(京都)②長崎選抜チーム(長崎)③足羽小学校(福井)④愛知県ハンドボールスクール(愛知)

◆準決勝

延岡小 14－12 神森小学校
明野北 12－11 田辺小学校

◆3位決定戦

田辺小学校 17－5 神森小学校

◆決勝

明野北 16－4 延岡小

［最終順位］①明野北ハンドボール少年団(大分)②延岡小ハンドボールクラブ(宮崎)③田辺小学校(京都)④神森小学校(沖縄)

女子の部

◆予選リーグAブロック

明野西 11－5 仏生寺
仏生寺 20－3 愛知県
仏生寺 14－8 安堵の里
明野西 23－1 愛知県
明野西 15－1 安堵の里
安堵の里 11－4 愛知県

［順位］①明野西ハンドボールクラブ(大分)②仏生寺スポーツ少年団(富山)③安堵の里ハンドボールクラブ(奈良)④愛知県ハンドボールスクール(愛知)

◆予選リーグBブロック

京都桃園 13－5 東安居
京都桃園 27－6 香川町
長崎小島 17－2 京都桃園
東安居 15－4 香川町
長崎小島 14－0 東安居
長崎小島 20－1 香川町

［順位］①長崎小島キッズ(長崎)②京都桃園ハンドボールクラブ(京都)③東安居ハンドボールスポーツ少年団(福井)④香川町オリーブちゃん(香川)

◆予選リーグCブロック

大浜 11－4 笹川
笹川 11－10 網津
笹川 12－0 埴生
網津 10－7 大浜
大浜 12－0 埴生
網津 12－0 埴生

［順位］①大浜キッズ(大阪)②網津小ハンドボール部(熊本)③笹川ハンドボール少年団(三重)④埴生小学校ハンドボール部(長野)

◆予選リーグDブロック

沢牴 15－7 甲田
田辺町 16－2 甲田
日知屋東 16－5 甲田
田辺町 13－13 日知屋東
沢牴 16－12 日知屋東
日知屋東 14－6 田辺町

［順位］①沢牴スポーツクラブ(沖縄)②日知屋東ハンドボール部(宮崎)③田辺町選抜(京都)④甲田ハンドボール部(広島)

◆準々決勝

明野西 16－7 日知屋東
長崎小島 11－6 網津
京都桃園 18－10 大浜
仏生寺 16－8 沢牴

◆準決勝

明野西 14－11 長崎小島
仏生寺 13－7 京都桃園

◆3位決定戦

長崎小島 16－7 京都桃園

◆決勝

明野西 12－7 仏生寺

［最終順位］①明野西ハンドボールクラブ(大分)②仏生寺スポーツ少年団(富山)③長崎小島キッズ(長崎)④京都桃園ハンドボールクラブ(京都0)

東日本大会

第16回全国クラブハンドボール選手権大会

ふくしま国体メモリアルフェスティバルとして本宮町で開催

福島県のチームが男女アベック優勝

福島県　**加藤岳郎**

参加選手のマナーの良さに主管団体として感謝申し上げます。

全国クラブハンドボール選手権大会も16回目を迎えました。

今大会より東西に分かれての開催となり、初めてのことでもあり、戸惑うことも多々ありましたが、どうにか無事終了できましたことをお知らせいたします。

ところで、本大会をふくしま国体メモリアルフェスティバルとして、福島県、本宮町の絶大なるご支援を戴き毎年開催することで、お引き受けできましたことを関係者一同大変喜んでおります。

会場も、ふくしま国体時、成年男女の競技会場であった本宮町総合体育館、本宮体育館をお借りし、参加チーム、男子12、女子8の計20チームと予定通りの開催でありましたが、北海道の女子チームが出場できず、会場地の本宮ハンドボールクラブに急遽出場を依頼し補充することで対応することになりました。これが少し心残りです。

競技方法は、男子の部予選を4ブロックに分け3チームずつのリーグ戦、各ブロック1位のチームで決勝トーナメント、2位のチームで本宮町杯を競うトーナメントを実施。女子の部は4チームずつの2ブロックでの予選リーグ、各ブロック1、2位のチームで決勝トーナメント、3、4位のチームで本宮町長杯と試合数を多くする努力をしました。

ただ、男子予選リーグ最下位の4チームについては2試合しかできず、試合数が少なくなってしまい申し訳なく思っておりますが、概ね喜んでいただけたかと考えております。

試合結果については、後記の通りですが、予想だにしなかった福島県チームの男女アベック優勝で終了することになりました。

明年度の大会運営については、今回の経験を生かし、より素晴らしい大会にしたいと考えております。参加された選手はもとより、皆様方の忌憚ないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

最後になりましたが、本宮町の皆さんの献身的なご協力と、参加された選手の皆さんのマナーの良さにより、素晴らしい大会になりました。関係者一同心より感謝申し上げ報告といたします。

■試合結果

男子

◆予選リーグAブロック

甲府クラブ　16—15　羽後クラブ
羽後クラブ　16—12　有斗クラブ
甲府クラブ　25—14　有斗クラブ

【順位】①甲府クラブ②羽後クラブ③有斗クラブ

◆予選リーグBブロック

志高クラブ　25—12　学芸球駿会
46G会　20—18　学芸球駿会
志高クラブ　21—16　46G会

【順位】①志高クラブ②46G会③学芸球駿会

◆予選リーグCブロック

花巻クラブ　27—13　小金クラブ
花巻クラブ　25—11　北志クラブ
小金クラブ　21—16　北志クラブ

【順位】①花巻クラブ②小金クラブ③北志クラブ

◆予選リーグDブロック

IHクラブ　30—16　越前ブレイカーズ
学石クラブ　37—7　越前ブレイカーズ
IHクラブ　20—20　学石クラブ

【順位】①学石クラブ②IHクラブ③越前ブレイカーズ

〈決勝トーナメント〉

◆準決勝

甲府クラブ　27—11　志高クラブ
学石クラブ　27—24　花巻クラブ

◆決勝

学石クラブ　29—21　甲府クラブ

【最終順位】①学石クラブ(福島)②甲府クラブ(山梨)③志高クラブ(岩手)、花巻クラブ(岩手)

〈本宮町長杯トーナメント〉

◆準決勝

羽後クラブ　25—19　46G会
IHクラブ　32—26　小金クラブ

◆決勝

IHクラブ　30—21　羽後クラブ

【順位】①羽後クラブ(秋田)②IHクラブ(神奈川)③46G会(埼玉)、小金クラブ(千葉)

女子

◆予選リーグEブロック

SAKURAクラブ　18—7　レッドビーン
レッドビーン　15—4　小町倶楽部

SAKURAクラブ 25―4 小町倶楽部
レッドビーン 14―2 本宮ハンドボールクラブ
SAKURAクラブ 28―10 本宮ハンドボールクラブ
小町倶楽部 14―14 本宮ハンドボールクラブ
[順位]①SAKURAクラブ②レッドビーンクラブ③本宮ハンドボールクラブ④小町倶楽部

◆予選リーグFブロック

FUKUSIMA 13―8 御城クラブ
FUKUSIMA 23―11 あすなろクラブ
御城クラブ 15―10 あすなろクラブ
FUKUSIMA 13―8 佳英クラブ
佳英クラブ 14―8 御城クラブ
佳英クラブ 21―10 あすなろクラブ
[順位]①FUKUSIMA②佳英クラブ③御城クラブ④あすなろクラブ

〈決勝トーナメント〉

◆準決勝

SAKURAクラブ 18―16 佳英クラブ
FUKUSIMA 19―11 レッドビーン

◆決勝

FUKUSIMA 21―16 SAKURAクラブ
[最終順位]①FUKUSIMA(福島)②SAKURAクラブ(東京)③レッドビーン(石川)、佳英クラブ(埼玉)

〈本宮町長杯トーナメント〉

◆準決勝

あすなろクラブ 17―9 本宮ハンドボールクラブ
御城クラブ 24―10 小町倶楽部

◆決勝

御城クラブ 18―16 あすなろクラブ
[順位]①御城クラブ(茨城)②あすなろクラブ(青森)③本宮ハンドボールクラブ(福島)、小町倶楽部(秋田)

西日本大会

男女とも沖縄のチームが優勝を飾る

●平成8年7月26日㈮～28日㈰
●山口県徳島市総合スポーツセンター(アリーナ・多目的ホール)

[試合結果]

男子

◆予選リーグAブロック

徳山クラブ 26―19 新田クラブ
徳山クラブ 33―20 生駒オークス
新田クラブ 27―22 生駒オークス
[順位]①徳山クラブ②新田クラブ③生駒オークス

◆予選リーグBブロック

パームヒルズクラブ 23―15 総社クラブ
パームヒルズクラブ 34―14 東山クラブ
東山クラブ 20―18 総社クラブ
[順位]①パームヒルズクラブ②東山クラブ③総社クラブ

◆予選リーグCブロック

滋賀クラブ 20―16 修道クラブ
大同クラブ 25―19 滋賀クラブ
大同クラブ 28―12 修道クラブ
[順位]①大同クラブ②滋賀クラブ③修道クラブ

◆予選リーグDブロック

長崎クラブ 21―19 千里関大クラブ
千里関大クラブ 32―18 清商クラブ
長崎クラブ 24―23 清商クラブ
[順位]①長崎クラブ②千里関大クラブ③清商クラブ

〈決勝トーナメント〉

◆準決勝

パームヒルズクラブ 29―21 徳山クラブ
大同クラブ 22―19 長崎クラブ

◆決勝

パームヒルズクラブ 22―18 大同クラブ
[最終順位]①パームヒルズクラブ(沖縄)②大同クラブ(愛知)③徳山クラブ(山口)、長崎クラブ(長崎)

女子

◆予選リーグブロック

風見鶏クラブ 17―13 虹の会
風見鶏クラブ 24―11 あゆみクラブ
虹の会 18―12 あゆみクラブ
レキオクラブ 22―13 風見鶏クラブ
レキオクラブ 27―8 虹の会
レキオクラブ 25―14 あゆみクラブ
[順位]①レキオクラブ②風見鶏クラブ③虹の会④あゆみクラブ

◆予選リーグFブロック

DAIWA CLUB 15―14 熊毛クラブ
DAIWA CLUB 19―10 北高クラブ
北高クラブ 16―14 熊毛クラブ
尾州病院クラブ 14―12 DAIWA CLUB
尾州病院クラブ 23―12 熊毛クラブ
北高クラブ 17―17 尾州病院クラブ
[順位]①尾州病院クラブ②DAIWA CLUB③北高クラブ④熊毛クラブ

◆決勝

レキオクラブ 28―13 尾州病院クラブ
[最終順位]①レキオクラブ(沖縄)②尾州病院クラブ(愛知)③風見鶏クラブ(兵庫)、北高クラブ(愛媛)

第4回ハンドボールマスターズ大会

男子は46G会 女子は東花・瀬戸内クラブが優勝

4回目を迎えた本大会、今年は7月19日(金)～21日(日)の日程で愛知県豊田市体育館にて実施されました。

今年も、全日本教職員ハンドボール連盟会長の高橋健夫氏を初め、全国から多くの役員の皆様にお越しいただくことができました。



マスターズ大会　武蔵野クラブVS中部レディース
中部レディース2番小路光子選手の7ｍThrow。

また愛知県ハンドボール協会会長の太田耕治氏、豊田市ハンドボール協会会長の伊藤充氏の両氏からは温かい歓迎の御挨拶を頂き、大会副会長の六十路を過ぎて元気いっぱいの佐野和夫氏には、女子のゲームの審判までしていただきました。

男子は、埼玉県からの「埼玉46G会」と、地元愛知からの「豊田市クラブ」、「A・T・F」の計3チーム。女子は、愛媛・広島を合わせた「瀬戸内レディーズ」と関東からの「武蔵野クラブ」と「東花レディーズ」。それに大阪からの「寝屋川クラブ」と愛知と岐阜を合わせた「中部ドリームズ」の計5チーム。男女合わせて8チームの参加がありました。どのチームからも『ハンドボールを楽しむためにやって来た』という熱気が伝わり、ボールを追いかける選手の皆さんからは青春の息吹さえ感じられる熱のこもった場面を随所に見ることができました。



マスターズ大会集合写真

また、今年度から「45才以上の選手がゴールインした場合は、1得点と7メートルスローの結果を加える・35才未満の選手がゴールインした場合は7メートルスローの結果により得点とする」という、年齢の高い者にとってやや有利な特別ルールも加わりました。

昨年度から、教職員大会という枠をはずし、広くハンドボールを愛する中高年令者の大会に移行したこの大会、『生涯スポーツとして楽しみ、親睦と友情を深める機会とする』という趣旨は、今年もまた見事に達成されたようです。殊に、恒例となっている第1日目の全ゲーム終了後に行われる親睦会の宴は、この大会の楽しみのひとつであり、お酒を酌み交わしながらハンドボールの話に興じるという、この場に誘われて今年も参加したという選手も多いと聞きます。こんな素敵な大会がこれからもずっと続いていくことを願わずにいられない一面です。

また、大会期間中に実施されたチビッコ達のハンドボール教室とも言うべき「親子ふれあいタイム」に、今年は豊田市ハンドボールスクールや知立市ハンドボールスクールの皆さんを初め、参加チームのお子さんたちも加わり、約50名の参加がありました。

本大会の総務でもある若松義則氏のご指導のもとに、2才の幼児

から小学生・中学生の子ども達が歓声を上げてボールを追いかける光景は、一ハンドボールを未来につなぐ一という意味においてこの大会の大事な一面を担っています。今年は、豊田北高校の男子ハンドボール部の皆さんが応援に駆けつけて下さり、子ども達の相手をして内容を一層盛り上げていました。

こうして、今年も多くの方々の厚い御協力と御支援の許に、無事本大会の幕を閉じることができました。

来年もまた、ハンドボールを愛するたくさんの方々が、元気いっぱいの姿で一堂に会することを念じてやみません。



親子ふれあいタイム　講師の若松先生とチビッ子のじゃんけん遊び
大会副会長の佐野先生をはじめ親子の楽しそうな顔々……

[試合結果]

《男子》

◆リーグ戦

ATF	19－15	豊田市クラブ
埼玉46G会	27－13	豊田市クラブ
埼玉46G会	21－10	ATF
ATF	11－10	豊田市クラブ
埼玉46G会	17－8	豊田市クラブ
埼玉46G会	18－13	ATF

[順位]優　勝　埼玉46G会
準優勝　ATF
第3位　豊田市クラブ

《女子》

◆リーグ戦

武蔵野クラブ	15－13	中部ドリームズ
東花・瀬戸内クラブ	17－15	中部ドリームズ
武蔵野クラブ	13－9	寝屋川クラブ
東花・瀬戸内クラブ	28－11	寝屋川クラブ
武蔵野クラブ	13－13	東花・瀬戸内クラブ
寝屋川クラブ	17－14	中部ドリームズ

[順位]優　勝　東花・瀬戸内クラブ
準優勝　武蔵野クラブ
第3位　寝屋川クラブ
第4位　中部ドリームズ

ロゴマークを採用！

マスターズ大会では、本年よりここに紹介いたしますロゴマークを採用しました。このマークは豊田市にあります私立豊田大谷高校の3年生・鈴木麻美さんの作品です。この素晴らしい作品を今後とも大切に使わせていただきます。



列島縦断

今、おもむろに思うこと

千葉県ハンドボール協会理事長　稲生　茂



私が千葉県ハンドボール協会の理事長を引き受けて現在8年目を迎えています。その間、さまざまな関東大会、県内大会に、協会運営に、チームづくりに明け暮れる毎日ですが、正直に言って大会、行事に追われる毎日ですので、今回の日本ハンドボール協会の機関誌に内容のあることを書く自信はありませんが、現在、本協会が抱えている問題を上げてみます。

小学校

千葉県の小学生のチームは現在3地域にあります。

私の住んでいる富里町、そして市川市と印西市の3地域です。いずれも指導者は、中高校の先生ですが、それぞれスポーツ少年団として登録しています。

これからの日本のハンドボール界を考えると、小学生の時からハンドボールに興味を持つ選手を見つけ出して、そして楽しく、元気に、理解ある環境のもとに、スクスクと育てていくことです。本県はまだ小学生の歴史はありませんので、県内大会は年に1回だけですが、練習試合は別として、今の所、充分ではないかと思います。

関東大会は夏と冬に2度参加する機会があります。

小学生に全国大会の必要性については、まだ出場していませんのでよくわかりませんが、経費の問題が大きくのしかかってきます。

ぜひ、10年後、20年後のハンドボール界のことを考えるならば、日本協会が本気で取り組み、まず予算と、組織づくりに、また、スポンサーを見つけて、各地区大会、ブロック大会と、全国大会へと、夢が実現できればと思います。私自身も小学生チームをつくって8年目、これからも、勝負にこだわらないで、大きく、楽しく、子どもたちがもっとハンドボールをやりたいというクラブにしたいと考えています。

中学校

今年の千葉県中学総体で、富里町立富里北中学校の女子の部が初優勝しました。

上記に書きました、小学生チームの子どもたちが、富里北中に進学して、父母の手で、中学校に社会体育のクラブとして、学校長に認めていただき、同好会としてスタートして3年目に達成できた優勝です。

そのようなチームなので試合に参加するには北中の先生が必ず必要です。日頃指導している監督、コーチはベンチには入れません。(今年から1名のみ認められる)

この中に入って感じることですが、子どもたちの生活指導が優先してハンドボール指導が二の次になっている感じがします。

今現在、千葉県の中学校の指導者の部活動への取り組みは情熱がなくなって来ています。若い指導者は充分に情熱はあるのですが、学校行事、進学、父母の反対、その他、多種の問題を抱えていまして、このままでいくと、将来の千葉の子どもは「モヤシの子」になるかもしれません。

これからはもっと学校関係者(管理職)に理解していただき、自分自身を向上させる姿勢のある、また、他人の痛みもわかる、喜びと悲しみも感じる、暖かみのある、健康で心も健康な子供を育てる努力をしたいと考えています。(中学校の先生方、何物にも負けずにガンバッテ下さい。)

高校

千葉のハンドボール界は高体連が中心になって育った組織です。現在、抱えている問題は指導者不足です。

この手になりますと、自分の一生を振り返って、何ができるか考えます。今の私は、自分自身がハンドボールに育てられたものですから、私はハンドボール界に何ができるかと考え、ハンドボールの普及と発展に取り組んでいます。

今後もハンドボールを通して子どもたちを育てて、普及させていきたいと考えていますが、「モットー」はできるだけベストでということですが、最近の若い人を見ていますと、好きなことはやる、また、ここまではやるが、これ以上はという姿勢を感じます。

物事に取り組む姿勢で「やれるだけやって見る」というものを感じません。やはりこのスポーツ界は普通の人と同じことをやっていても発展しませんし、他人のやらないこと、考えもつかないことを、ひとりひとりが、実践してこそ発展すると考えています。

今、協会で高校界に対して応援していることはテレビ放映です。現在は年に1回ですが、スポンサーがつけば、年に2回は放映したいと考えていますが、テレビを通して、生徒を主役にして、スターにしてやりがいのあるハンドボールにしたいと常は考えています。

今年の山梨のインターハイを見学して来まして、高校界の試合がやっと体育館でという時代になってきました。

やはりハンドボールの醍醐味は体育館でという時代です。そして、頂点を目指す選手への指導は別として、生徒たちへのハンドボールを通して、何を学ばせるか、の姿勢を人づくりのためとか、生活指導の一環として、という時代から脱皮して、日本人も生活の中でのスポーツ（ハンドボール）を教える時代かと思います。

これからのハンドボールは幼児から老人まで、そして、頂点は世界を目指す、大きな目標はいかがですか。

最後に世界選手権をはじめ、熊本県のハンドボールの普及、発展の努力には敬意を表します。

指導者の条件

「指導者の像について」

東北福祉大学
山路　康男



現在我が国で活躍しておりますハンドボール競技の指導者の層を区分け致しますと

(1)中学高校及び大学の教職員。
(2)それら各学校のOBを主体としたもの。
(3)日本リーグを中心とした実業団のスタッフ。
(4)地域を対象にしたクラブチームのスタッフ。

それら各グループの主な役割と目的は、

(1)は、選手の人間形成にウエイトをおきます。
(2)は、母校の名誉がバックボーンであり、
(3)は、各企業のPRが基盤になった球界をリードする立場で活躍中。
(4)は、近年全国的に芽生えてきました対象が、小学生を含めた、地域のボランティアグループ。

大ざっぱですが、以上4つのセクションで、指導者はそれぞれの目標を目指して日夜努力されておる事と察してます。

一昨年、日本協会が、各都道府県協会に依頼したアンケート調査の中での指導に関しての回答が、興味深く今後の参考になろうと思います。

(1)指導者育成の項に関しましては、「現状では不満足である」が全体の66%と「満足である」の3%を大きく上回っております。
(2)指導者の研修に関しましては、指導者研修会を要望する声が84%と圧倒的でした。
(3)現在行われております公認指導者制度についての項目では、「資格を取得してもそれを活かす機会が少ない」が55%と残念な結果でした。

以上これらの問題に関しましては、各協会サイドで対策し解消する事を期待致します。

さて、今回は教育現場や実業団等での指導者は別格としまして、その他の現場で活躍されてます方々の為に指導者としての役割と資質につきまして、簡単に記載しました。

(1)役割についてですが、選手に対して、ハンドボール競技のすばらしさと、競技上達の喜びでの享受を手助けし、選手の欲求に対応した目標の設定と、それの達成を目指す練習計画の立案が主な役割であり、又選手に対し、団体競技で要求されますリーダーシップとメンバーシップの育成に努め、チームと選手の向上を計る事も必須条件であります。
(2)また指導者の資質条件としましては、ハンドボール競技に対する熱意は勿論の事、自己の経験に拘らない、科学的で先見的な専門知識の研磨と、自分に自信を持ったメリハリのある指導力そして何よりも大切な事は、スポーツマンとして明るく品位有る態度が要求されるでしょう。

現在、指導者像として見渡しますと、各教育現場での場合、指導者個人の年齢と職種の向上で、選手と一緒に練習する機会が減少し、且つ公立校の場合、指導者の転勤がもたらす結果は無情なもので、現場サイドでは、どうしようも無い出来事のようです。現在球界では親子二代目の選手が各方面でみられ喜ばしい事と思いますが、年々出生率の低下で厳しい情勢の中、苦労して選手を集め、それぞれの目標に向かって活躍されてます全国の指導者諸氏のご健勝と、今後ますます良き指導者が誕生する事を末筆ながら祈念申し上げる次第です。

平成7年度コーチ・レフェリーシンポジュームより

近代ハンドボールの発展傾向

指導委員会報告

―1995世界選手権大会より―

IHF CCMアラン・ルンド

最近のハンドボールはダイナミックになってきている。ここ数年のハンドボールの発展は、10数年前とは大きく変化してきている。少しでも世界の情勢から遅れるとトップから取り残されることとなる。アジアの国々そして日本はヨーロッパからは少し遅れているのが現状である。これは日本が良いハンドボールをしていないというのではなく、これから益々発展できる可能性があるという事である。来年、熊本での世界選手権大会でオルソンを監督として世界に向かっていく大きな可能性を持っている。オルソン監督も言っていたが、日本が熊本の大会で優勝することは無理だと私も思う。

しかし、日本にはこの大会を通してハンドボールがマスコミに取り上げられメジャー化する大きなチャンスとなることは確実である。また、日本が大変幸運だと思えるのは、1995年のエジプトでのIHFのシンポジュームでの報告内容が数ヶ月後にこのような形（今年3月に発行したWORLD HANDBALL 95）ですでに作成されていることは大変すばらしいことである。日本には大変すばらしいスタッフがいる。今回はこの報告書に基づき世界のハンドボールの発展傾向の説明をする。

世界のハンドボールの発展傾向（1995世界選手権大会から）

「WORLD HANDBALL 95」のP65からを参照

傾向1、ゲームのスピードが増した（WORLD HANDBALL 95 P65表1）一試合の攻撃回数、ならびに得点が増加した。前回（93WM）スウェーデンの大会では一試合あたりの平均攻撃回数47・9回から今回は52・6回と約5回増えている。また、得点では前回の平均22・4点から今回26・0点と平均して約3・5点増えている。GKの技術も向上しているにも関わらず得点が増加しているということは、攻撃の質の向上と考えることができる。

プレイヤーは当然レフェリーも世界の傾向についていかなくてはならない、そういう点で今一番注意しなければならないのはパッシブプレイである。

傾向2、新しい防御プレイヤーの像（WORLD HANDBALL 95 P68参照）

もう一つの傾向としては、今までとは異なった防御プレイヤーが注目された。

これまでの防御は攻撃者に対応して防御するという考え方であったが、今は攻撃者の動きを先取りして防御するという防御に変化してきている。

10年前であれば指導者は大きな攻

撃選手に対して「あたっていけ」とか「つぶせ」という指導してきたが、今は相手の動きを先取りして動くことで相手のミス（判断のミス、ファールをさせたり）を誘発しボールを獲得することを教えるべきである。

この防御のもう一つの原則としては、ボールのあるサイドでは防御側は数的に優位な状況を常に作ることである。逆にボールのないサイドでは数的に不利な状況となることである。しかし、この不利な状況は防御者の「読み」と「先取り」によって補われる。

今のハンドボールで最も良い防御とは攻撃側にミスさせることのできる防御である。例えば、スペースをわざと作りパスをさせてカットを狙うとか防御側が攻撃側を欺く状況を作り出すことである。

現代ではすばらしい防御を持つチームが世界1位になれる。スウェーデンやロシアがそうであったように、フランスもその防御力を持って世界のトップとなった。確かにリシャーソンは今理想的な防御者であり、フランスチームには何人かのベストメンバーもおり、各ポジションに強い選手がいたが、それ以上にフランスには良いコーチがいた。彼は長期間のトーナメントの戦い方を良く知っていた。

それによりフランスは日に日に強くなっていった。スウェーデンの監督も戦い方を良く知っていたが、それ以上に彼はIHFの活動に常に参加し、相手チームの動向をつかみ、そして審判の活動にも積極的に参加した。そしてレフェリーがこの大会でパッシブプレイ、チャージ、アドバンテージを多く取ることをあらかじめ知っておりその指導を十分に積んできていた。彼はルールを良く知っているのではなく、ハンドボールを良く知っていたのである。

防御に関しては、世界の傾向としてヨーロッパの国々ではパッシブな6：0もしくは5：1防御が主流となり、エジプトやアルジェリアなどではかなり攻撃的な防御が中心となっている。（詳しくはWORLD　HANDBALL　95　P90参照）これからは、相手に合わせる防御ではなく、知識を持った防御プレイヤーによる積極的な防御活動が主流となる。

傾向3、1次速攻には発展が見られないが、2、3次速攻に新しい方向

前回の大会ではスウェーデン、ロシアの得点の1／3は速攻による得点であり今後も増加の傾向と思われていたが、今大会では速攻による得点に大きな変化（増加）は見られなかった。しかし、2、3次速攻に前回とは異なった変化が見られた。

速攻を得意とするチームと対戦する場合は、速攻の際にできるだけ早い時点でボールを持っているプレイヤーを防御することで攻撃を中断することが必要である。

例えば、時にはファールをすることで、またはドリブルをさせることで中断する。これにより多くの場合、速攻は中断され、相手チームは速攻をやめたとき防御側も選手を交代する。

今回の大会では、これを逆に利用したチームが現れた。

【スウェーデンの例】

速攻のスタートを早くして、1人がドリブルをして速攻をやめたように見せかける。それにより防御側がメンバーを交代させようとしたときに再び速攻を仕掛ける。（6：6、6：4の状況をつくる）

【韓国の例】

速攻の時に、コーチが選手を呼び交代と見せかける、防御側は速攻がないと思い気をゆるめた時に攻撃を仕掛ける。

まとめ

ここ数年の大きな大会を見れば明らかなように、コーチの戦術的な能力はかなり高いレベルになってきている。先日この講習会でナショナルチームの監督のオルソンが「ハンドボールはチェスのようにたいへん難しい」といったが、その通りである。これからは、選手は戦術的な知識を身につけなければならない、そしてコンピューターのように頭が働かせないと絶対に勝てない。

コーチ・選手ともこの戦術に関する勉強にどれだけ時間をかけていますか？

今度の熊本の世界選手権大会で世界1位になるのは、このような戦術的に豊富な知識を身につけている選手を多く抱え、自分自身豊富な知識を持ち実践できるコーチのいるチームであろう。

審判委員会報告

審判委員長　大塚　文雄

IHF／CCMのメンバー　アラン・ルンド氏（デンマーク）をメイン講師に迎え、第3回のコーチ・レフェリー・シンポジュームが1996年3月8日(金)～10日(日)まで東京オリンピック記念青少年総合センターで120名を越す全国の監督・コーチ・レフェリ

ーなどハンドボールのエキスパートと指導委員会・審判委員会のメンバーが集まり開催された。このシンポジュームは2年毎に開催されるが、第1回・第2回は、当時のゲーム様相からレフェリーの一笛一笛に監督・コーチがクレームをつけた時代で相互の理解のため、「監督・コーチとレフェリーの協調」とクレームがつけられる原因となるいくつかのプレーに対する両者の見解の統一についてのディスカッションがあり成果をあげた。

しかし、今回のシンポジュームは、どちらかといえば講義の形式で、前回までのように自分の考えを述べる機会に恵まれず、多少の不満はあったと聞いているが、それにしても講師の顔触れを見ても一流どころがずらりと並び、彼らのハンドボール理論、ハンドボール観、聞いているだけで胸がワクワクした。

アラン・ルンド氏は、サウジアラビアの監督を努めるなど、世界でも有数の理論家であり、現在IHF／CCMのメンバーとして活躍しているが、彼の、世界のハンドボールの技術・戦術論、また、全日本男女監督のオレ・オルソン氏、樫塚正一氏の技術・戦術論、前全日本男子監督の蒲生晴明氏の講演など、どちらかといえば、監督・コーチたちに興味のある内容が多かった。しかしレフェリーも技術・戦術について深く勉強しなければ、素晴らしい笛は吹けないことはよくわかっている。

その中でレフェリー・サイドが一番関心のあるのは1997年8月1日に（IHF）から改正のニュールールについてである。この事にも簡単に触れて頂いたが、いずれにしてもアトランタ・オリンピックの際、IHFコングレスで決定されるのであり、今の段階ではまだ正式のものではない。アトランタでのコングレスまでに数回IHF／PRCとCCMが会議を重ね案をもう少し煮詰めるものと思われる。

しかし、1996年7月にニュールールが決定され、1997年8月から世界では実施されるが、日本ではご存じのように、シーズンが4月から翌年3月までが年度である。従って今回はいつからニュールールを採用していくか検討を要する問題である。すなわち、今までそうであったようにニュールールを半年先取りして、4月から実施するとなると、1997年5月には熊本で世界選手権大会が開催される。この大会は現行のルールで行われるので、4月からニュールールで実施するのは無用の混乱を招く基になりかねない。世界選手権大会後の8月に世界に合わせて実施するという考えもある。しかし、日本の8月は各種全日本大会のラッシュであり、例えばインターハイでは6月までの予選は旧ルールで行い、本大会はニュールールなんてことも起こる。半年遅れの1998年4月からという意見もあるが、さて、一体どうすれば良いのか、(財)日本ハンドボール協会としてどうするか、真剣に検討をしなければならない問題である。皆さんのご意見もお聞かせ頂ければ幸いである。

最後に、レフェリーの大切なポイントを17あげていただいたが、その主なものをご紹介して終わりにしたい。

レフェリーの大切なポイント

＊すべてのレフェリーは間違いを起こす。

レフェリーはミスジャッチをした場合素直に認め、プレーヤーにわからせた方が良い。アドバンテージなどでのミスは謝ったりする方が良い。これはプレーヤーに言えば良いことで、監督・コーチには言わなくてよい。

＊レフェリーは判定に対し、自分の判断をコーチやプレーヤー・オフィシャルに理解されることが必要である。

＊ユニフォームをつかむプレーに対しては、必ず2分間退場にする。但し、ポストプレーヤーなどのユニフォームをつかんでも、プレーヤーが動く時に離すのは警告、つかんでも動かさないようにするのは2分間退場である。

＊オフェンスがボールを持ち3ステップした時ディフェンスが当たり、次に4ステップめを踏んだらすぐに笛を吹け。そうしないとディフェンスは何をするかわからない。

＊出血したプレーヤーはすぐにコートから離れなければならない。出血したプレーヤーはコートで治療してはならない。（ハンドボールの世界にもエイズの影が忍び寄ってきた）そのプレーヤーの再入場はベンチの責任である。レフェリーの判断で出血が止まっていないようなら、タイムアウトをとり出させる。しかし、必ずタイムアウトを取り確認する必要はない。

＊段階的罰則の適用例

・ホールディングを繰り返す。
・ゴールキーパーのスローアウトなどを邪魔した場合。
・すべてのスローを邪魔する行為。
・シューターの腕を抱えたもの。
・すべての脅迫的行動。

＊マンツーマンスタイルの時のレフェリーの位置どりの研究。

＊ベンチの規則について

レフェリーはこんな事を頭のスミに入れておき、後は各自のパフォーマンスでゲームに臨めば良い。

イタリア

第24回コッパ・インテラムニア国際大会

横浜商工が準優勝を飾る！

横浜商工高校監督
渡辺　靖弘

7月3日成田を飛び立った空の上で偶然にも小生の誕生日、回りの人々に祝福されイタリアで世界と戦う幸先良いスタートであり、幸福を感じる出発でありました。

試合は7月4日～11日の8日間、試合形式はリーグ戦（5チーム、4ブロック）決勝トーナメント（リーグ戦の1位、2位）。

まず強豪のポーランドとの初戦、前半緊張からかプレイが出来ず4点リードされ苦戦のスタート、後半やっとリズムに乗り残り3分、3点連取の逆転勝利、自分達のハンドボールができれば、世界に通じる事を生徒と共に確信し、得た初戦であった。日本をなめているかのように思えたポーランド選手が呆然としていたのが印象深く心地よかった。2戦目ケニヤ、そしてドイツと戦いブロック1位で決勝トーナメントに進んだ。

決勝トーナメントでは1戦目ギリシャ、2戦目デンマークでしたが生徒たちが良く頑張り、決勝進出を決めた。スピードにも負けることなく、パスコンビネーションも冴え、日頃の練習の成果を随所に出したように思います。この頃からヨコハマ、ヨコハマと各国の選手たちが声をかけてくれるようになり、商工の選手たちもそれに答え、楽しそうにしているのがとてもほほえましく思えた。いよいよ決勝。逆パートからイタリア、チェコを破ったスイスと対戦である。

2m近いエースをマークしたが、もう一人の選手（サウスポー、素晴らしいテクニック）に勝負所で点を取られ、焦ってしまい横浜商工のプレイができないまま試合終了のホイッスルがなってしまった。力を出せないまま終わらせたスイスの選手、そして女性の監督に完敗（12－15）でした。

結果は準優勝でしたが、小柄な日本のチームの闘志をたたえて戴きました。

全試合を終え感じた事は、ヨーロッパのチームの攻撃は淡泊で、実にのんびりしている。その点では日本は緻密に研究し努力をしていると思える。小生の「1秒一生」は「1日一生」だとかいう言葉は通じないでしょう。しかし、ヨーロッパ体質とでも言うのでしょうか、リズム感、盛り上げなどさすがであった。帰国し、次の日から取り入れている。

最後に、決勝戦が終わりコートサイドで横浜商工が悔し涙のミーティングをして終わろうとした時、すぐ後ろの席で見ていたケニアの選手（女性）が拍手を送ってくれた。言葉は通じなくとも思う心は通じる、心は1つだなあと改めて思いました。

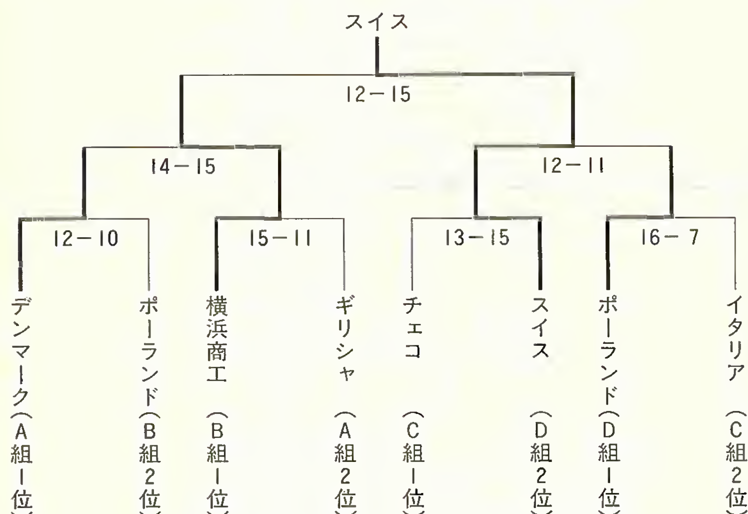
アトランタオリンピックの真っ最中、日本のハンドボールもメダルが夢ではない思いがいっぱいであります。

第24回コッパ・インテラムニア（イタリア）国際大会結果報告

（予選リーグ）15分ハーフ

	①横浜商工	②ポーランド	③スイス	④ケニア	⑤ドイツ
①		○ 10－9	○ 6－0	○ 20－8	○ 17－6
②	× 9－10		○ 6－0	○ 24－6	○ 17－9
③	× 0－6	× 0－6		× 0－6	× 0－6
④	× 8－20	× 6－24	○ 6－0		× 7－17
⑤	× 6－17	× 9－17	○ 6－0	× 17－7	

決勝トーナメント（15分ハーフ）



ジュニア代表強化に本腰を

企画・広報委員　**早川文司**

熊本の男子世界選手権まで残り９カ月余の迫った。〝オルソン日本〟が本番で世界の強豪とどんな戦いを挑むか。期待と不安が交錯する昨今だが、これからが強化の正念場であることは間違いない。

ところで、最近ちょっとばかり気になっていることがある。ジュニア代表の強化策に関してである。ジュニア層をどのように鍛え、日本の将来を背負う選手に育てるという明確な青写真が描かれているのだろうか。

いくら日本代表の強化を声高に叫んで、取り組んでみても、それに続くジュニア層の強化をおろそかにしていては、強化が寸断され一貫性が欠けてしまうことになる。

６月に中国で行われたアジア女子ジュニア選手権での日本は、中国、韓国に連敗した。ここで言いたいのは結果うんぬんではない。遠征報告書を見ると、ミス、そして気迫の差が挙げられている。また、４月の熊本でのジャパンカップでオルソン監督が口を酸っぱくして求め、嘆いたのは、ファイティングスピリットの欠如だった。

こうしたことからも言えることは、ジュニア層の年代から厳しい環境の中で鍛え上げ、いかに本来の力を出させるかの取り組みが不可欠ではないだろうか。

そういう意味合いからも、ジュニア代表ー日本代表という強化路線の確立が求められるのは言うまでもない。

以前はジュニア代表の中から日本代表へ引き上げられるケースが多く見られたが、最近はそういったこともあまり見受けられず、別個に構成される感が強いように思えてならない。
それともジュニア代表メンバーのセレクトに問題があるのか。強化についての成果が上がっているように思えないのは私だけなのだろうか。

ジュニア代表は、日本代表の予備軍として、一貫した指導体制が敷かれてこそ、世界の中で日本のレベルアップが図られるのではないだろうか。技術面だけでなく、メンタルな面を含めてジュニア代表の位置付け、本来のあるべき姿をじっくりと考えてもらいたいし、すでにシドニー五輪対策が出されてもいいのではないか。

フリースロー
Free Throw

順天堂大学ハンドボール部監督　**東根明人**

今月も先月に引き続き、Leipzig大学における研修を中心にご報告したいと思います。

はじめに、ＩＴＫ（International Trainers Kurs：国際指導者講習会）についてですが、この講座の目的は、国際的指導者を育成することです。その内容はバラエティーに富んでおり、毎時間異なるテーマ、内容に取り組むことになります。例えば、オフェンスとディフェンスを個人・グループ・チームに分類し、それぞれの技術と戦術をUbung（課題）やSpiel（ゲーム）形式で実習することは基本ですが、時に11人制をテーマにしたり、子供たちを対象としたトレーニングやゲームも行います。また、一人45分間の持ち時間で、与えられたテーマに対するコーチングをし、その評価を受けるという時間もあります。修了試験における得点配分は、コーチング50%、実技25%、理論25%となっていますので、特に入念なチェックを受けることになります。

ところで、理論の時間ではトレーニングプランやそのシステム、そして重要ポイントをはじめとし、ＤＨＢ（ドイツハンドボール連盟）の実例や、ＤＤＲ時代の具体例をまじえ非常に分かりやすく説明を受けることが出来ます。そんな中で最も印象的なことは、様々な情報はもとより、受講者一人一人が一生懸命考えているし、各自の意見をしっかりと持っているということです。従って、授業中は頻繁に質問が飛び出しますし、逆に出ないと講師の方が心配したり、不思議がるほどです。これは、ＩＴＫに限らず、他の講習会や授業においても、ごく常識的に見られる光景です。一方的に知識を教えこむのではなく、そこでは「聞く・考える・話す」という基本的であると同時に大変重要な行為が繰り返されているのです。よく日本人は話すことや、自己表現が下手だと言われますが、子供の頃からの学習形態や教育目標がこちらと比較すると違い過ぎるのですから、分かる気がします。講義はする側も、される側も互いに考え、疑問をぶつけ合い、充実した時間を築きあげています。

次に、先日C-Trainer講習会に招待され、参加する機会を得ましたので、要点のみですがご報告します。講習会は６月14日㈮～６月16日㈰の３日間、計30時間に渡って行われました。C-Trainerのライセンスを取得するためには、さらに90時間合計120時間の講習会に全て出席し、修了試験（筆記、口頭、コーチング）に合格しなければなりません。因みに、B-Trainerは60時間、A-Trainerは160時間、そしてDiplom-Trainereは18カ月の講習と試験が義務づけられています。

ところで、Ｃ・Ｂライセンスについては、各地域連盟の主催により実施されますので、受講者は各々の都合に合わせ、他地域連盟の講習会への参加が可能な日程になっています。この辺りは地方分権が進んでいると共に、受講者側に立った配慮がなされていると言えるでしょう。そして、このライセンスは14才以上を指導対象としているため、その目標や内容も必然的にそれら対象者に合わせたものになってきています。こういった内容や重要ポイント、そして到達目標といったものはＤＨＢの指導の下、明確に提示されています。

最後に、C-Trainerの講習会が終了後、ＨＶＳ（ザクセンハンドボール連盟）のR.Meyer氏に幾つかの疑問点を尋ねてみましたので、かい摘んでご紹介します。

☆何故14歳まで全国大会がないのか？

旧東ドイツ側は、ＤＤＲ時代は実施しており、何らの問題はなかったと主張し実施を求めたが、ＤＨＢ側は将来性・長期展望に立ちその必要性を認めなかったといいます。この件に関しましては、現在も継続審議中といいながらも、進展の気配はないといいます。

☆どうして、６・０ディフェンナスはA-Jugend（17、18歳）になって到達目標になっているのか？

ＤＨＢの方針として、14歳までにマンツーマンディフェンイス、15、16歳クラスでは３・２・１や４・２そして３・３システムを習得することにより、将来的に成長が期待出来るからといいます。初期の段階で、個人のディフェンス能力を必要とするシステムをトレーニングすることで、後々様々に応用がきくという考え方です。

☆練習量が日本と比較すると、極端に少ないのはどうして？

簡単に言うと、目的が違うからということでしょう。ドイツでは７、８歳頃からミニハンドボールをやり、ハンドボールに対する興味を持たせます。14歳くらいまでは、ハンドボールを楽しんだり、他のスポーツをしたりして、本格的に取り組まないのが現状です。同時に、小さい時に専門的にやり過ぎると、その他のこと（特に勉学）とバランスを崩す可能性があるといいます。

いずれにせよ、ナショナルチームやBundeslligaを頂点とした確固としたコンセプトがあり、それぞれのクラスの指導者もその目標達成に努力しています。個人的な世界を築くのではなく、そこにはドイツのハンドボールを、あるいは世界のハンドボールといったことを常に物事の中心に据えて考えていることが感じられます。

更に、長期的展望に立ちプランニングをし、多くの人々が協力できるシステムを作り上げています。

半世紀を過ぎて送球（ハンドボール）競技、ルール改正と戦術をかえりみて

越智　武



昭和13年（紀元2598年）（西暦1938年）に送球（ハンドボール）競技を始めた私も50年以上にこの競技に関連を持った。第二次世界大戦後、日本ハンドボール協会（日本送球協会）の組織が確立され、日本協会の理事や企画・規則委員会委員になり、また全国高等学校体育連盟ハンドボール部の常務委員、専門部委員も兼ねていたのでルールと戦術をかえりみて記述した。

※将来、日本のハンドボール界はよい方向に展開されるでしょうか、いろいろの問題点がある。

昭和21年に第1回国民体育大会が京阪神地区で実施されてより数回にわたりルールの改正が行なわれた。改正をした理由は、改正せねばならない国際的な動向で日本も行なったのである。しかし、改正はされたが

①ハンドボール競技の基本的理念は変わっていない。

②ハンドボール競技のもつ、走る、跳ぶ、投げるの三要素はスポーツの基盤である。

③スピード、ダイナミック、スリルには戦術に魅力がある。

日本でのハンドボール（送球）競技時代に、プレイヤーや観衆は次のように感じていた。

①当時のルール（競技場No.1）はゴール寸前のオフサイドラインがあり、攻防もこの線の区域前後にて開始された。オフサイドラインとオフサイドラインとの間の競技場中央付近での攻防が見られず、観衆が退屈していたハンドボール競技であった。

②フィールドプレーヤーの10名が、フォワード（FW・主として攻撃のみ）、ハーフバック（HB・防御を主として攻撃にも参加）、フルバック（FB・防御を主とする）に分担がはっきりとしていたので攻防の展開は早いがオフサイドライン近くでの攻防が始められた。

昭和13年当時行なわれたルールと競技場での技術と戦術（11人制送球）（図1）

イ、FW、HB、FB、GKが完全に攻防の分担がされていた。

ロ、防御から攻撃に移るとき両オフサイドラインの間のフィールドでの攻防に退屈する感があった。

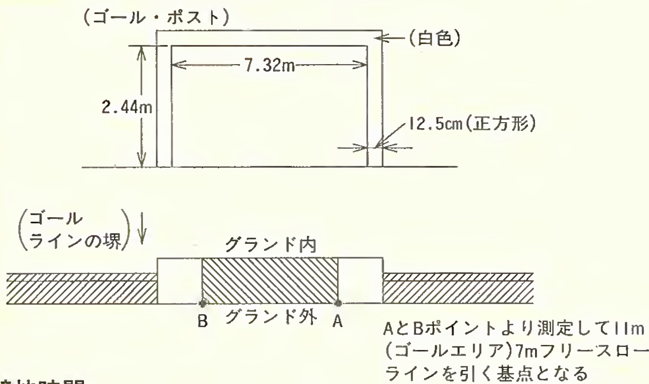
ハ、プレイヤーはスピードとダイナミックがあり、それなりに興味



図1

図３
（競技場）昭和29年（1954年）11人制競技場

	グランド		ゴールポスト		センターサークル（半径）	ゴールエリアライン	フリースローライン
	縦	横	縦	横			
一般男	90m〜110m	55m〜65m	2.44m	7.32m	9.15m	11m	17m
高男	90〜110	55〜65	2.44m	7.32m	9.15m	11m	17m
女子	60〜75	40〜50	2.44m	7.32m	9.15m	10m	16m
少年	60〜75	40〜50	2.44m	7.32m	9.15m	10m	16m



競技時間

種別＼時間	規定時間			第一延長			第二延長			第三延長			
	前	休	後	休	前	後	休	前	後	休	前	後	
成年男子	30分	10分	30分	0分	15分	15分	5分	10分	10分	5分	10分	10分	
高校男子	25	10	25	0	10	10	5	10	10	5	10	10	
女子・少年	15	10	15	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
備考	抽せん・スローフ		スローオフ コート交替	抽せんなし	規定時間通り			抽せんをする			抽せんなし		にて 他日再試合

昭和29年（1954年）11人制競技場（ルールブック）より
競技場No. 2

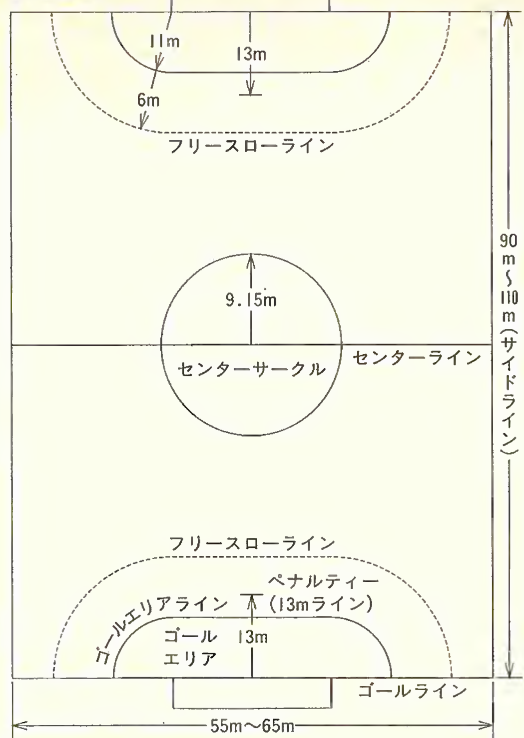


図２

種別＼ボール	重さ	外周
一般、男、高	425〜475g	58〜60cm
女子・少年	375〜425g	56〜58cm

◎オフサイド・ラインが無くなり競技者の人数にてオフサイドラインが決められた。

競技場の表示

種別＼競技場	グランド		ゴールポスト		センターサークル	ゴールエリヤーライン	フリースローライン
	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ			
一男 高男	90m 〜110m	55m 〜65m	2.44m	7.32m	（半） 9.15m	13m	19m

{11人制 ゴール・ポストは巾12.5cmの正方形　{7人制 8cm正方形

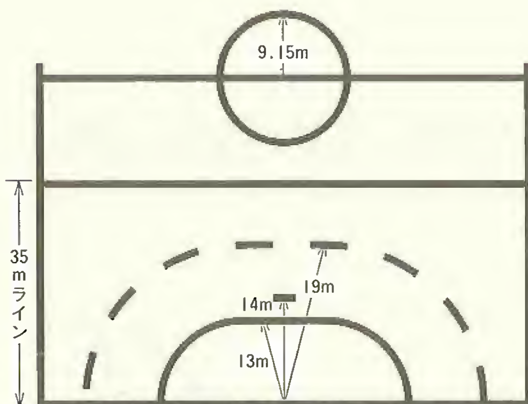


図４

をもっていたが、観衆には退屈をさせたのである。

昭和29年（1954年）11人制競技場（No.2）、室内及び屋外ハンドボール競技場（図2、3、4）

No.2競技場では、退屈をなくそうと10人攻撃、10人防御戦法をとるようなオフサイドの限界をプレイヤーの人数に制限したルールになる。

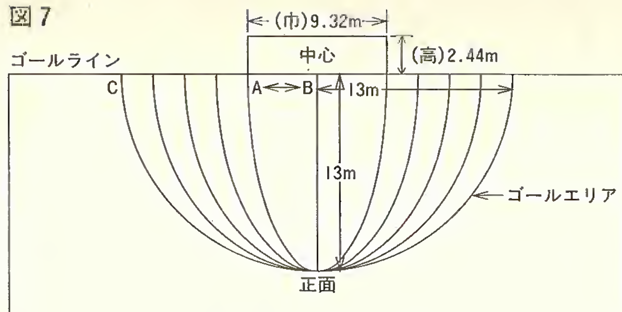
オフサイドライン近くでの攻防のみは解決されたが、ゴールに向かって正面攻撃が主となり、攻撃でサイドからの戦術がなく、広い競技場でありながら中央からのみの戦法に頼ることになっていた。

競技場は昭和33年よりNo.3に。国際ハンドボール連盟も7人制の過程とも考えられる105mのサイドラインを三等分した35mラインの制限域を作った競技場となった。（図5）

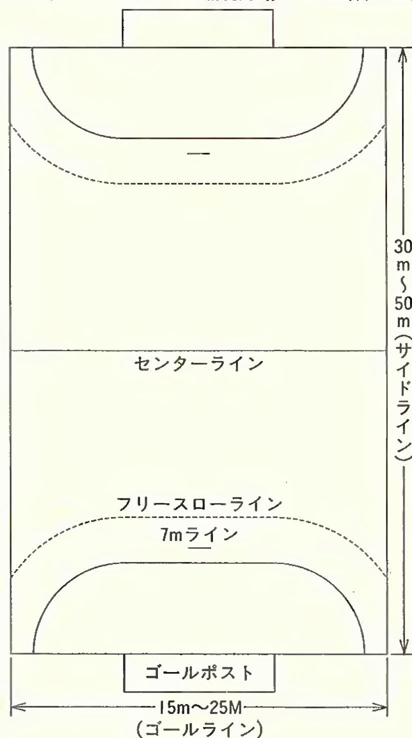
No.1、No.2の競技場での問題点は一応解決されたので、No.3は競技場はサイド攻撃を展開するためゴールエリアの測定が変わったのである。

No.1、No.2の競技場では、片方のゴールポストの縦のポール内側から測定してNo.3はゴールライン

図７



室内ハンドボール競技場 No.4 昭和29年（1954年）



◎ボールの重さと円周は変わらない

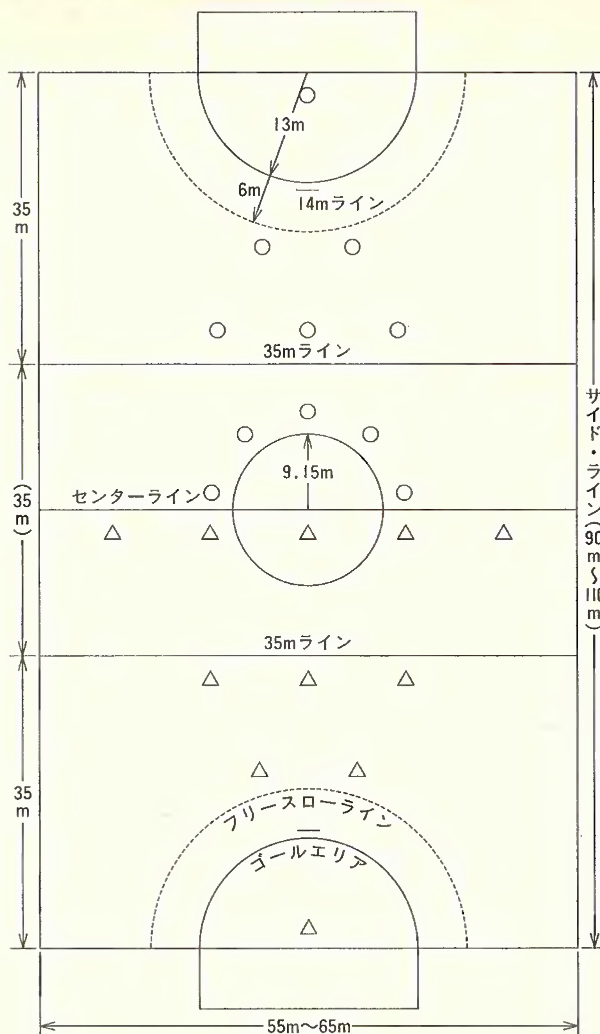
ゴールポスト



ボールの規格

種別＼ボール	重さ	外周
成　　年	425〜475g	58〜60cm
少年・女子	375〜425g	56〜58cm

競技場 No.3 昭和33年4月1日（1958年）変更ルール



※35mライン
◎35mライン内にフィールド・プレイヤーが６名以上位置してはいけない。

図５

の中央を中心として半円を引いたのである。（図７）

ゴールポストの幅９・32ｍ÷２＝４・66ｍ

ＡとＢの間が４・66ｍになるからＡとＣは13ｍであり、ゴールライン近くになるほど距離は近くなり、ゴールラインの所では８・34ｍとなり、攻防の展開がサイドラインまで広がり、幅広い攻防になったのである。

また、35ｍラインができ、フィールド・プレイヤーの人数制限が６人で攻防されるようにルールが改正され、戦法もおのずと６人対６人の戦法でファースト・ブレイクとスローブレイクの戦法が行なわれるように特色ができたとも言

えるのである。
※国際ハンドボール連盟との関連もあるが、昭和38年より男女共に室内（屋外）7人制ハンドボール競技に変遷されねばならなかったのである。（オリンピック大会、世界選手権大会に参加するためのものである）競技場No.4

室内ハントボール競技の表現が、この年より（戸外、室内共通）7人制ハンドボール競技との名称にした。

競技場は室内ハンドボール競技時代と同じである。（表1）

表1　7人制ハンドボール

	規定時間			第一延長			第二延長			勝敗決しない…他日再試合
	前	中・休	後	㊡	前	後	㊡	前	後	
成男	30	10	30	5	5	5	5	5	5	
高男	25	10	25	5	5	5	5	5	5	
女・少年	20	10	20	5	5	5	5	5	5	
備考	サイド㊍抽選・		ロー交替サイド・ス		サイド㊍抽選・	サ		抽選	ロー交替サイド・ス	

昭和32年度（1957年）より女子のみ7人制（室内）ハンドボールになり、昭和38年度（1963年）より男女共通のハンドボール競技となる。（表1）

表2　昭和29年当時の競技時間（室内ハンドボールとフィルドボールの比較）

	7人制ハンドボール		11人制ハンドボール
成人	25分…10分…25分 延長は10分×2休憩なし	成年男子	30分…10分…30分（第1延長 15分×2）（第2延長 休5分10分×2） 第3延長第2と同じ ◎成年・高男は第一延長休憩なし
少年	20分…10分…20分 延長は10分×2	高校男	25分…10分…25分（第1延長 10分×2）（第2延長 休5分10分×2）（第3延長 同じ）
女子	15分…10分…15分 延長は7分×2	女子・少年	15分…10分…15分（第1延長 休5×5×5）（第2延長 第3延長）同じ

7人制（室内）の競技規則は1947年度国際規則
勝敗の決しない時は他日再試合を行う

日本で使用した競技規則で（競技場）の昭和10年当時からの変遷史

No.1→No.2、昭和29年。11人制フィールド・ハンドボール。室内ハンドボール（1947年度国際規則）。

No.3、昭和33～37年度まで。

No.4、昭和38年度より男女共室内（7人制）ハンドボール競技となり現在に至る。

No.5、能力差のある小学生等に使用されたいミニハンドボール競技。

昭和32年度より女子のみ室内（屋外）7人制ハンドボールに改変した理由があった。1。女子の体力の問題で、ハンドボール競技（特に高校生では）が1年中で一番暑い8月の上旬に全国大会が行なわれた11人制（サイドライン105m、ゴールライン65m）には毎年日射病になる選手が数名出て、健康上不適当であるとの見解で7人制に改変したが、また、11人制から7人制に改変しても、ハンドボール競技のテクニックやタクティックには移行しても大丈夫との研究結果となったのである。

当時私はその研究分野で数年研究しての結果が、11人制と7人制とをプレイヤーに実施してみてのことである。

この昭和32年度第8回全国高校ハンドボール大会を東京会場であったのを松山にて開催したのである。もちろん、男子11人制、女子7人制ハンドボール大会であった。

※ゴールキーパーのテクニックは11人制と7人制とは当然変わったのである。

1。11人制では、ダイナミック的なところが多分にあった。

2。7人制では瞬間の予見と敏捷な動きが特に要求される。

海外トピックス

ドイツ・ブンデスリーグ（1部）の観客動員数

ドイツブンデスリーグ(1部)男子 95/96 観客数			
チーム名	ホームゲーム	総観客数	1ゲーム当り観客数
VfL Bad Schwartau	15	29850	1990
Bayer Dormagen	15	15300	1020
HSV Dusseldorf	15	14150	943
TUSEM Essen	15	38100	2540
SG Flensburg-Handewitt	15	49000	3267
TV Groβwallstadt	15	33750	2250
VfL Gummersbach	15	27400	1827
SG Hameln	15	27900	1860
THW Kiel	15	105000	7000
TBV Lemgo	15	35100	2340
SC Magdeburg	15	35900	2393
GWD Minden	15	36350	2423
TuS Nettelstedt	15	47558	3171
TV Niederwurzbach	15	32319	2156
OSC Rheinhausen	15	28619	1908
SG Wallau-Massenheim	15	35350	2357
シーズン95/96	240ゲーム	591646人	2465人
シーズン94/95	240ゲーム	578081人	2409人

ドイツブンデスリーグ(1部)女子 95/96 観客数			
チーム名	ホームゲーム	総観客数	1ゲーム当り観客数
TV Lutzellinden	13	9600	738
Buxtehuder SV	13	9950	765
TuS Walle Bremen	13	6158	474
BSV Sachsen Zwickau	13	4515	347
VfB Leipzig	13	6170	475
TV Mainzlar	13	4300	331
TSV Nord Harrislee	13	3380	260
SG GM/BTSV Berlin	13	3112	239
BVB 09 Dortmund	13	2835	218
SC Magdeburg	13	2710	208
Bayer 04 Leverkusen	13	2330	179
SG Minden	13	3305	254
	182ゲーム	79334人	436人

ドイツハンドボール協会はこのほどドイツブンデスリーグ（1部）男女の95／96の観客数を発表した。

男子16チーム、ホームゲームでの観客数平均は2465人と前年より56人増加している。また、1ゲームあたりの平均観客数で一番多いのがTHW Kielの7000人と驚異的な観客動員を図っている。クノール、ペターセン、シュミット、ミエフラーらのドイツナショナル選手を4人とスウェーデン・ナショナルメンバーのヴイスランダーらの実力・人気選手をかかえていることもその要因にあげられよう。

もっとも少ないのがHSV Dusseldorfの943人となっている。

女子はBuxtehuden svの765人でトップ。平均は436人だった。

第21回日本ハンドボールリーグ日程表

平成8年8月1日現在

週	月日	開催地	一部 男子 時間	一部 男子 組合わせ	一部 女子 時間	一部 女子 組合わせ	二部 男子 時間	二部 男子 組合わせ	二部 女子 時間	二部 女子 組合わせ
	9/14(土)	盛岡	15:40	大崎×中村	14:00	大崎×ジャスコ				
		知立	14:00	車体×三陽						
		広島	14:00	湧永×日新	12:30	イズミ×オムロン				
		西宮					13:40	大ガス×トヨタ	15:00	大和×ブラザー
		徳山					11:00	トクヤマ×北電		
1	9/15(日)	人吉					13:30	本熊×電装		
	9/16(月)	青森			14:00	日立×シャトレ				
		小松			13:00	北国×立山				
		甲田町	14:00	湧永×大同						
		呉	14:00	日新×本田						
		本宮町							14:00	ムネカタ×ソニー
	9/17(火)	佐賀					15:30	アラコ×三景		
	9/18(水)	佐賀					18:30	アラコ×トクヤマ		
	9/20(金)	国分							18:00	ソニー×ブラザー
	9/21(土)	東京	16:30	三陽×大同			15:00	三景×電装		
		四日市	16:10	本田×湧永	14:30	ジャスコ×イズミ				
2		大阪							15:00	大和×ムネカタ
		松岡町			14:00	立山×大崎	15:30	北電×本熊		
	9/22(日)	栃木			14:30	日立×オムロン				
		東京	13:00	中村×車体			11:30	三景×トヨタ		
		東京	14:30	三陽×日新						
	9/23(月)	富士吉田			14:00	シャトレ×北国				
		名古屋	15:00	大同×大崎			13:30	電装×大ガス		
	9/26(木)	広島			19:00	イズミ×立山				
		徳山					18:30	トクヤマ×三景		
	9/27(金)	志木	19:00	大崎×湧永	17:30	大崎×シャトレ				
3	9/28(土)	東京	16:00	中村×本田						
		知立	14:00	車体×日新			11:00	トヨタ×電装	12:30	ブラザー×ムネカタ
		熊本			16:00	オムロン×ジャスコ	14:30	本熊×アラコ	13:00	ソニー×大和
		西宮					13:40	大ガス×北電		
	10/1(火)	甲田町	18:00	湧永×車体						
		呉	18:30	日新×中村						
	10/2(水)	志木	18:30	大崎×三陽						
		松岡町			17:00	立山×オムロン	18:30	北電×トヨタ		
	10/3(木)	鈴鹿	18:00	本田×大同						
		徳山					18:30	トクヤマ×本熊		
	10/5(土)	甲府			14:00	シャトレ×イズミ				
		鈴鹿	14:30	本田×車体						
		広島	14:00	湧永×三陽						
4		広島	15:30	日新×大崎						
		東海					16:00	トヨタ×アラコ		
		東海					17:30	電装×北電		
		西宮					13:40	大ガス×トクヤマ		
		水俣					19:00	本熊×三景		
		国分							15:00	ソニー×ムネカタ
	10/6(日)	栃木			15:00	日立×ジャスコ				
		東海	14:30	大同×中村					13:00	ブラザー×大和
		岐阜			15:00	北国×大崎				
	10/9(水)	佐賀					18:30	アラコ×大ガス		

週	月日	開催地	一部 男子 時間	組合わせ	一部 女子 時間	組合わせ	二部 男子 時間	組合わせ	二部 女子 時間	組合わせ
	10/19(土)	川越	15:30	大崎×本田	14:00	大崎×日立				
		徳山					11:00	トクヤマ×トヨタ		
		佐賀					15:00	アラコ×電装		
5	10/20(日)	岡崎	14:30	大同×車体					13:00	ブラザー×ソニー
		広島			11:00	イズミ×北国				
		鹿本町			15:00	オムロン×シャトレ	13:30	本熊×大ガス		
		福井			13:00	立山×ジャスコ	14:30	北電×三景		
		本宮町							14:00	ムネカタ×大和
	10/22(火)	東京	18:00	三陽×本田						
		東京	19:30	中村×湧永						
		松岡町			17:00	北国×日立	18:30	北電×アラコ		
	10/23(水)	東京	19:30	三陽×中村			18:00	三景×大ガス		
		岡崎	19:00	車体×大崎			17:30	電装×トクヤマ		
		名古屋	19:00	大同×日新			17:30	トヨタ×本熊		
	10/26(土)	志木			15:00	大崎×イズミ				
6		名古屋	17:00	大同×三陽			15:30	トヨタ×三景		
		四日市	13:00	本田×中村						
		大阪	13:30	日新×車体					12:00	大和×ソニー
		大阪	15:00	湧永×大崎						
		西宮					13:40	大ガス×電装		
	10/27(日)	栃木			14:30	日立×立山				
		金沢			14:00	北国×オムロン				
		本宮町							14:00	ムネカタ×ブラザー
		本渡					11:00	本熊×北電		
	10/29(火)	川崎	19:30	三陽×湧永			18:00	三景×トクヤマ		
	10/30(水)	川崎	19:30	中村×大同	18:00	シャトレ×ジャスコ				
		知立	18:30	車体×本田			17:00	電装×トヨタ		
		松岡町					18:30	北電×大ガス		
		佐賀					18:30	アラコ×本熊		
	10/31(木)	志木	18:30	大崎×日新						
	11/2(土)	四日市			14:30	ジャスコ×北国				
7		西宮			15:00	立山×シャトレ	13:40	大ガス×三景		
		佐賀					15:00	アラコ×北電		
	11/3(日)	船橋	13:00	中村×日新						
		船橋	14:30	三陽×大崎						
		広島			11:00	イズミ×日立				
		熊本			15:00	オムロン×大崎	13:30	本熊×トヨタ		
	11/4(月)	名古屋	13:30	車体×湧永						
		名古屋	15:00	大同×本田						
		生駒							14:00	大和×ソニー
	11/6(水)	東京					19:00	三景×本熊		
		徳山					18:30	トクヤマ×電装		
8	11/9(土)	高岡			13:00	立山×北国				
		四日市			13:00	ジャスコ×大崎				
		岩国			14:50	オムロン×イズミ	13:20	トクヤマ×アラコ		
	11/10(日)	塩山			15:00	シャトレ×日立				
	11/14(木)	広島			19:00	イズミ×ジャスコ				
	11/16(土)	志木			15:00	大崎×立山				
9		金沢			16:00	北国×シャトレ				
		名古屋							15:00	ブラザー×大和
	11/17(日)	八代			13:00	オムロン×日立				
		本宮町							14:00	ムネカタ×ソニー

週	月日	開催地	一部 男子 時間	一部 男子 組合わせ	一部 女子 時間	一部 女子 組合わせ	二部 男子 時間	二部 男子 組合わせ	二部 女子 時間	二部 女子 組合わせ
10	11/23(土)	氷見			14:00	立山×イズミ				
		四日市			13:00	ジャスコ×オムロン				
		大阪							15:00	大和×ムネカタ
		都城							16:00	ソニー×ブラザー
	11/24(日)	栃木			13:30	シャトレ×大崎				
		栃木			15:00	日立×北国				
11	11/30(土)	夕張			15:00	ジャスコ×日立				
		京都			15:00	オムロン×立山				
		広島	15:30	日新×三陽	14:00	イズミ×シャトレ				
		西宮					13:40	大ガス×アラコ		
	12/1(日)	三郷	14:00	大崎×大同	12:30	大崎×北国				
		三好町	15:20	車体×中村			10:30	電装×三景	14:00	ブラザー×ムネカタ
		三好町					11:50	トヨタ×北電		
		高知	14:30	湧永×本田					13:00	ソニー×大和
		合志町					13:30	本熊×トクヤマ		
12	12/13(金)	国分							18:00	ソニー×ムネカタ
	12/14(土)	川崎	16:30	三陽×車体			15:00	三景×北電		
		川崎	18:00	中村×大崎						
		鈴鹿	14:40	本田×日新	13:00	ジャスコ×立山				
		西宮					13:40	大ガス×本熊	15:00	大和×ブラザー
	12/15(日)	東根			14:00	北国×イズミ				
		栃木			14:30	日立×大崎				
		甲府			14:00	シャトレ×オムロン				
		豊田	14:40	大同×湧永			12:00	電装×アラコ		
		豊田					13:20	トヨタ×トクヤマ		
13	12/18(水)	志木	18:30	大崎×車体						
		鈴鹿	18:30	本田×三陽	16:50	ジャスコ×シャトレ				
		松岡町					18:30	北電×電装		
		佐賀					18:30	アラコ×トヨタ		
	12/19(木)	広島	18:00	日新×大同						
		広島	19:30	湧永×中村						
		徳山					18:30	トクヤマ×大ガス		
	12/21(土)	刈谷	15:00	車体×大同			12:00	トヨタ×大ガス		
		刈谷					13:30	電装×本熊		
		広島	16:30	日新×湧永	15:00	イズミ×大崎				
	12/22(日)	本宮町							14:00	ムネカタ×大和
		富山			14:30	立山×日立	13:00	北電×トクヤマ		
	12/23(月)	府中	14:30	中村×三陽			13:00	三景×アラコ		
		鈴鹿	18:00	本田×大崎						
		大分			13:20	オムロン×北国				
		半田							13:00	ブラザー×ソニー
14	12/25(水)	本宮町			17:30	日立×イズミ			19:00	ムネカタ×ブラザー
	12/26(木)	志木			17:00	シャトレ×立山				
		志木			18:30	大崎×オムロン				
		小松			19:00	北国×ジャスコ				

☆プレーオフ大会：平成９年１月10日(金)～11日(土)　東京（東京体育館）
☆テレビ放送等の関係で試合時間が変更になることがあります。

第15回世界選手権・熊本

ご協賛のお願い

世界選手権フレンドシップ'97

拝啓　時下益々のご靖勝のことお慶び申し上げます。平素は財団法人日本ハンドボール協会の事業運営に格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、皆様既にご高承のとおり、平成9年(1997年)5月17日から6月1日まで、熊本県において「97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本」が開催されることになりました。男子世界選手権大会が本場ヨーロッパの地から離れて開催されることは初めてのことであり、日本ハンドボール界と致しましてもこの重要且つ貴重な大会を是非とも成功させ、歴史に残る立派なものにしなければなりません。

このような有意義な大会を成功に導くために、(財)日本ハンドボール協会、1997年男子世界ハンドボール選手権大会組織委員会は大会運営に対し両輪として総力を挙げて開催準備を進めているところであります。本事業は大会開催費、広報宣伝他多額の費用を要する大事業であり、本協会としても運営資金の調達に努力し、既に日本リーグ加盟チーム各社から特別支援金を納入して頂いているところでございます。同様に、日本国内の各企業に寄付金、広告・協賛金のお願いをし、本事業の円滑な推進のための財源確保の努力しているところでございます。

財政的な基盤を固めると共に、本協会は大会開催にむけて今後独自の各種事業を展開していくことが求められております。本大会に出場する全日本チームの支援活動としての激励会の開催、平成9年4月の大会直前に行われる国際試合を壮行試合として大会のムードづくりをする企画実現、開催地の熊本県への観戦動員計画としての講演会、イベント等を含む大集合作戦の展開事業、世界選手権開催時期に同調して全国で同時開催する世界選手権応援大集合作戦の実現など、より充実した大会を支援する運営のための基金が必要となります。既に日本リーグ加盟チーム各社、財界を基盤とする各企業、関係団体には多額のご援助をいただいているところでございます。

本協会と致しましても、ブロック協会、都道府県協会、連盟のいわゆる身内としての多くの全国ハンドボール関係者の個人の皆様方似是非ともご援助、ご協力をお願いするところでございます。何卒、趣旨をご理解の上、皆様方のご援助を賜りたく心よりお願も申し上げます。

敬具

(財)日本ハンドボール協会

事務理事	中澤　重夫
理事	佐分　正典
理事	豊島　康彰
理事	森　豊夫
理事	市原　則之
理事	福地　賢介
理事	住尾　勉
参事	駒林　昭三
参事	加藤　岳郎
参事	大矢　三郎
参事	中川　敏文
参事	柳井　文治
参事	松原　忠
参事	山下　勝司
参事	真田　元

＊専用払込取扱票（郵便振替）が本誌にはさんであります。

世界選手権フレンドシップ'97

募金金額（個人）

１口１万円　　１口以上

記念品贈呈

1、'97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本記念特製テレホンカード

2、(財)日本ハンドボール協会機関誌　世界選手権記念特集特別号（大会参加国決定後発行）

3、感謝状の贈呈および機関誌に氏名の掲載

CONTENTS　9月号

日本協会だより……………………………1
渡辺副会長IHF/COCメンバーに ……………2
1997年男子世界選手権大会熊本ニュース………2
IHF総会出席報告……………………………3
全国理事長懇談会…………………井　薫…4
全日本男子ヨーロッパ遠征…………………5
アトランタオリンピック…………樫塚　正一…6
全日本高校ハンドボール大会………………8
ジャパンオープン……………………………10
全国小学生ハンドボール大会………………11
全国クラブハンドボール大会………………12
第4回ハンドボールマスターズ大会…………14
列島縦断…………………………稲生　茂…16
指導者の条件………………………山路　康男…17
コーチ・レフェリーシンポジウム
CCMアラン・ルンド／大塚　文雄…18
第24回コッパ・インテラムニア国際大会報告
……渡辺　靖弘…21
フリースロー………………………早川　文司…22
ドイツ研修報告……………………………23
半世紀を過ぎて—ルール改正と戦術をかえりみて
……越智　武…24
ドイツ・ブンデスリーグの観客動員数…………28
第21回日本ハンドボールリーグ日程表…………29
フレンドシップ・9月の行事・もくじ…………32

9月の行事予定

◇第21回日本リーグ開幕
9月14日より各地

◇全日本男子チームヨーロッパ遠征
8月24日～31日　ドイツ第10回シューパーカッセカップ
9月2日～10日　フランス第12回G・マラン杯（第2回クラブチームインターコンチネンタルカップ）

◇全日本学生男子選抜チームロシア遠征
8月25日～9月4日

◇常務理事会
9月21日

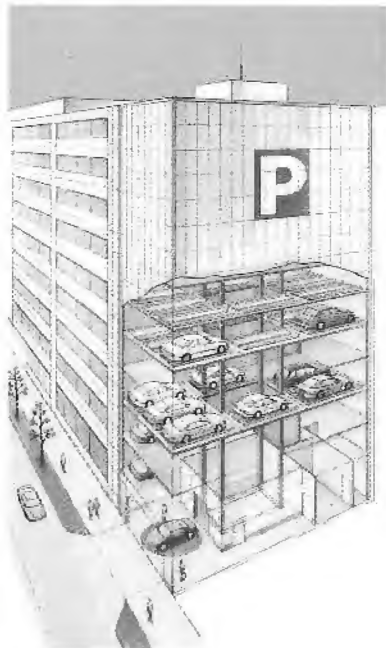
【編集委員会から】
今月号はアトランタオリンピック、インターハイ、インターハイ、ジャパンオープントーナメント大会などの速報を入れた関係で発行が少し遅れました。ご了解ください。

三菱重工

新製品

まさに高効率駐車

高さ31m・7台×13層で91台。しかも高速入出庫。



- 前面空地不要。間口7.8m×奥行17.5mの土地をフル活用
- エレベータをとり囲む7台分の駐車スペース（2層より上）
- エレベータで昇降、パズル方式で駐車。入出庫は同時進行
- 昇降120m/分、水平搬送60m/分の高速で素早い入出庫
- 低圧受電で電気料金が割安。電気取扱主任技術者が不要
- 1人で、エレベータ方式3基分に相当する管理ができる
- CO_2 ボンベ室・電気室など、必要設備をすべて塔内に収納

エレベータ十パズル方式（特許申請中）

三菱グリッドパーク

三菱重工業株式会社

本　社　パーキングシステム部　東京都千代田区丸の内2-5-1　〒100　☎(03)3212-9157~61

中国支社　鉄　構　二　課　広島市中区大手町2丁目11－10　〒730　☎(082)248-5185

(NHK広島放送センタービル)

本気なら、アシックス。

ニッポンを強くする2つのジャパン。

なによりもスピードが要求されるハンドボールには、
屈曲性に優れ、滑りにくいスパイラルソールを。
さらに、着地衝撃を和らげるαGELなどを
共通仕様にしたジャパンα-Lとα-S。
この2つのジャパンがニッポンを強くする。



品名 スカイハンド® ジャパン α-L
品番 THH710　メーカー希望小売価格 ¥17,500
カラー／●ホワイト×Ⓦマリンブルー・レッド
　●ホワイト×Ⓦレッド・マリンブルー
サイズ／22.5～29.0cm



品名 スカイハンド® ジャパン α-S
品番 THH711　メーカー希望小売価格 ¥16,500
カラー／●ホワイト×Ⓦレッド・マリンブルー
　●ホワイト×Ⓦマリンブルー・レッド
サイズ／22.5～29.0cm

asics® 株式会社アシックス

●表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。●®は㈱アシックスの登録商標です。●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックスお客様相談室までどうぞ。
〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL(078)303-2233(専用)　〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL(03)3624-1814(専用)・(03)3624-2221(大代表)

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第三六七号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成八年八月二十六日 印刷
平成八年九月一日 発行
東京都渋谷区神南一−一−一
電話 代表 三四八一−二三六一
振替 〇〇一二〇−七−一〇一九三
編集兼発行人 中澤重夫
定価三五〇円